

1. 基本情報						
事務事業コード	011006000020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	市民環境部	
				担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平	
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ	
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	3981	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	10 教育費		特になし <small>根拠法令・条例等</small>		
	項	06 社会教育費				
	目	06 文化振興費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 他の事務事業に属さない総括的な事務事業として、消耗品費、公用車の燃料代、修繕料、保険料等を計上し管理している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	予算執行率	%	81	95	98	99	99
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 平成29年度に行われた組織再編に伴い、当該事務事業中、公用車にかかる経費は社会教育課に移管し、文化振興関係各種協議会等参画事業に計上されていた負担金を当該事業に統合した。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	21,787	359	554	143	0
事業費		千円	21,787	359	554	143	0
投入量							

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
計上されてあった消耗品費及び公用車経費は、適正に執行された。	平成28年度は、車検年度であったことから、車検に係る一連の事務処理も滞りなく終えることができた。

事務事業コード	0110060600020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	既に必要最低限の人数・予算で執行していることから、より以上の削減は見込めない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	既に必要最低限の人数・予算で執行していることから、より以上の削減は見込めない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	公用車経費が不要となったが、新たに負担金事業を統合したことから、平成29年度の支払事務に間違いが生じないよう取扱いに注意をしたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	新たな事務が生じない限り、平成29年度と同様の取扱いとなることが想定されるため、事業の継続として執行したい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070200020101	事務事業名	社会体育総務管理事務事業	担当部	市民環境部	
				担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平	
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費		特になし <small>根拠法令・条例等</small>		
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【公用車維持管理事務】
 ・公用車の維持管理に係る、車検・保険・諸税を支出する。
 【保健体育関係主管課長会事務】
 ・県内19市の保健体育関係主管課長会へ出席し、他市の社会体育情勢を調査・研究する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	公用車維持管理費(含:車検)	円	375,062	80,000	57,942	130,000	130,000
イ	公用車燃料費	円	215,996	230,000	168,283	160,000	160,000
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	課内の各種業務						
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	円滑に実施される						
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)						
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を維持する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入等を減に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に資する機器等を購入し、維持管理の縮減に努めることとされている。

4. 事業費の推移

		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	698	3,110	2,958	7,426	7,450
	事業費	千円	698	3,110	2,958	7,426	7,450

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組)	(2) 平成28年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> 公用車燃料費 168,283円 公用車車検代修繕料 57,942円 その他管理費 139,256円	<左記の実績(取組)による成果を記載> 社会体育推進のために、公用車の燃料や車検・修繕費の支出により課の事務が円滑に行われた。

事務事業コード	0110070200020101	事務事業名	社会体育総務管理事務事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	事業費の内容は、事務局関係諸経費及び公用車管理経費、並びに19市に義務付けられた保健体育関係主管課長会経費等であり削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	社会体育施策推進のための根幹となる事務費等であり削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	社会体育施策推進のための根幹的な事務費等であることから改善については難しいが、事務の効率化、簡素化を図る必要がある。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	限られた経費の中で最大の成果を得ることができるよう、課内で情報を共有することで業務を効果的、効率的に実施する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070100020101	事務事業名	保健体育総務管理事務事業		担当部	市民環境部
					担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			担当課長	赤塚 孝平
施策名	03	スポーツの振興			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	02	スポーツ環境の整備			内線番号	3962
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	10 教育費				
	項	07 保健体育費				
	目	01 保健体育総務費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【B&G海洋センター連絡協議会】
 ・牧園にあるB&G海洋センターは、笹川財団の支援により建設された施設で、全国・九州・県の規模でその連絡協議会を組織している。定期的なスポーツの振興事業に取り組んでおり、他地区との交流や中央本部との情報交換を行っている。
 【消耗品等購入事務】
 ・社会体育事務の執行に必要な事務用品や消耗品を購入する。
 【社会体育職員研修会】
 ・始良、伊佐地区は教育事務所管内で社会体育振興を行うことが多く、連携と協力体制のための定期的な研修を行っている。
 【国体関係】
 ・平成32年開催の鹿児島国体に向けての調査研修を行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 社会体育行政研修会出席者数	人	22	35	35	35	35
イ 国体先催市等の視察出席者数	人	31	15	15	15	15
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改訂版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を維持する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入等を減に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に資する機器等を購入し、維持管理の縮減に努めることとされている。
 市民のスポーツの振興は、広域化、多様化する傾向であり、始良・伊佐地区と事業連携は、霧島市の社会体育行政の推進につながるとの意見がある。

4. 事業費の推移

単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 818	615	552	803
事業費	千円 818	615	552	803	821

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
国体関係調査研究視察旅費等 2,134,506円 消耗品費 48,610円	B&G海洋センター連絡協議会に参加し、県・九州の取り組み事業を確認した。また、始良・伊佐地区と例敬して、県一周駅伝、MBC女子駅伝、及びスポーツ推進委員事業の社会体育行政の推進が図られた。さらに、消耗品費の支出により課の事務が不備なく実施できた。 国体関係については平成32年度開催に向けて、先催市の施設配置、予算、課題等を把握して開催に向けて具体的に施設改修等の準備を行った。

事務事業コード	0110070100020101	事務事業名	保健体育総務管理事務事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費の内容は、事務局関係職員の出張旅費及び研修会費等であり、専門的の知識を習得するだけでなく、県をはじめとした行政機関及び関連団体等と連携して円滑に業務を実施するためには必要であることから削減はできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	社会体育施策推進のための事務費等であり削減はできない。また、国体については開催までの4年間に向けた経費であり、当面は組織の充実と調査研究が頻繁になることから継続的に経費が必要である。
	D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	社会体育施策推進のために最低限必要な事務費等であることから経費的な改善については難しいが、事務の効率化、簡素化を図る必要がある。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	限られた経費の中で最大の成果を得ることができるよう、課内で情報を共有し、また研修・視察等で得た知識も共有することで業務を効果的、効率的に実施する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報											
事務事業コード	0110070204030101	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業				担当部	市民環境部			
政策名	04	育み磨きあうまちづくり					担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	03	スポーツの振興					担当課長	赤塚 孝平			
基本事業名	01	スポーツ活動の推進					グループ	スポーツ振興G			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)						
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 スポーツ基本法						
	項	07 保健体育費									
	目	02 社会体育振興費									
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画					
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>											
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)											
昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、1日目11区間129.3km、2日目10区間112.7km、3日目11区間122.6km、4日目10区間109.1km、5日目11区間114.9km合計5日間53区間588.6kmをタスキをリレーする。霧島市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)、ゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)、中継1箇所(福山)、第5日目中継2ヶ所(福山・国分)があり、中継所接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるよう大会を支援する。 ・南日本新聞社主催の県内男子では最高レベルの駅伝大会 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営。歓迎催事の太鼓、吹奏楽の手配。駐車場の確保、雑踏整理を行っている。また、交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。											
① 活動指標 (事務事業の活動量)											
	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)					
ア	自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	171	171	176	171	171				
イ	中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7	7				
ウ											
(2) 事務事業の目的											
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)		
ア	県下一周市郡対抗駅伝出場者	駅伝大会出場者数(霧島市内走者)			人	96	96	96	96		
イ	観戦者	人口			人	126,962	129,679	125,447	130,000		
ウ											
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)		
ア	安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数			人	0	0	0	0		
イ	安全に応援できる	安全に応援できた箇所数			箇所	84	84	84	84		
ウ											
(3) 上位の基本事業											
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)		
ア	スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数			人	77,999	78,785	91,045	81,149		
イ											
ウ											
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)				4. 事業費の推移							
昭和29年奄美の日本復帰等を記念してスタートした。昨今の駅伝・長距離ブームが後押し、地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。当イベントは選手監督の3日目の宿泊が確実であること、また、大会当日は県内から選手の保護者や関係者など多くの方が霧島市を訪れることから、飲食をはじめ温泉入浴など、さらに、南日本新聞社の報道が連日行われることから霧島市への経済効果も大きく、市の魅力度アップにつながっている。				事業費 投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)	
					国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
					県支出金	千円	0	0	0	0	0
					地方債	千円	0	0	0	0	0
					その他	千円	0	0	0	0	0
					一般財源	千円	52	60	59	60	60
事業費	千円	52	60	59	60	60					
5. 平成28年度の実績及び成果											
(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>						
選手が安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継1箇所、第5日目中継2ヶ所を、職員のべ90名、スポーツ推進委員のべ54名で、中継所設置、ゴール設置、スタート設置を行い、選手と観客が安全に競技、応援できる環境を整備した。またゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した。 ・県下一周市郡対抗駅伝競走大会 始良地区 総合2位					県下最大の駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れること、及び走った後の歓待、県下各地から霧島市に訪れる観客達によって霧島市の魅力度向上・PRが図られている。また、市民が安心して応援できる環境が整うことによって、「観る」スポーツの推進が図られ市民の生涯スポーツへの意識向上が創造されている。本大会5日間のうち3日間は霧島市を通過しており、大会関係者から中継所・スタート地点の運営に対し高く評価されており霧島市の魅力度向上にも大きな役割を担っている。						

事務事業コード	0110070204030101	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	県下一周市郡対抗駅伝出場者が安全で快適に走れ、観戦者が安全に応援できることは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置に責任をもって市が関与しなければならない。また、市民の「観るスポーツ」に対するモラルやマナーを養う一方、自らが「するスポーツ」への動機を得るために市がしなければならない事業である。市への経済効果と魅力度向上が図られる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	毎年、事故なく大会が実施されていることから、現状の駅伝環境の創出水準が上限であると考えている。また、市民が安心して応援できる環境づくりのため必要などころに必要な交通警備員やボランティア員を配置し、コース周辺の地域住民に配慮したスタッフ配置を行っている。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	全県をあげての大会であり、通過する市町の責任と役割は長年の間に培われたものである。本事業の廃止や休止は市としての役割を果たせなくなる一方大会運営に重大な影響を及ぼし、ひいては、市のスポーツ振興にとって悪影響が生じる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本大会は南日本新聞社が主催する大会であり、市の負担は食糧費のみの事業費で行っており、削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業の実施にあたっては必要最小限の職員と、スポーツ推進委員や地元ボランティア(学校・婦人会・幼稚園)の協力で実施されている。スポーツボランティア組織の形成や地域を巻き込むことが可能であれば、将来的には人件費の削減余地はあると思われるが、現段階では削減の余地はない。また安全性を考慮すると、これ以上のスタッフの削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本大会は南日本新聞社が新聞やテレビ等を通して、市民だけでなく鹿児島県民にも広く周知されている。大会に出場する選手・選手を応援する市民それぞれに対し公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報	
事務事業コード	0110070204030102
事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業
担当部	市民環境部
担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04 育み磨きあうまちづくり
担当課長	赤塚 孝平
施策名	03 スポーツの振興
グループ	スポーツ振興G
基本事業名	01 スポーツ活動の推進
内線番号	3962
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 07 保健体育費 目 02 社会体育振興費
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 63 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
評価区分	標準評価 評価対象 1次評価 関連計画 霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本イベントはMBCが主催する。鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。

- ・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区) 計12チーム
- ・コース 霧島市隼人運動場をスタート→鹿児島神宮前交差点→鹿児島神宮入口交差点→木之房交差点→ホテル京セラ前交差点→河川敷→野口橋交差点→下井→野口橋交差点→ホテル京セラ前交差点→鹿児島神宮入口→鹿児島神宮前交差点→霧島市隼人運動場
- ・本事業を開催するに当たり、開閉会式の会場設営、グラウンドの整備、整地、防霜対策としての塩化カリウムの散布、及び200mトラックの製作を行っている。また、走者沿道ののぼり旗の設置と撤収。交差点の歩行者誘導、雑踏警備、選手の安全走行の管理に従事している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	63	63	63	63	63
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5	5

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70	70
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	77,999	78,785	91,045	81,149	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県の女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域おこしを目的に開始された。地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。当イベントは選手監督の前泊が期待できること、また、大会当日は県内から選手の保護者や関係者など多くの人が霧島市を訪れることから、飲食をはじめ温泉入浴など、さらに、MBCテレビと、ラジオで生放送されることから霧島市への経済効果も大きく、市の魅力度アップにつながっている。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,772	2,773	2,771	2,773
		事業費	千円	2,772	2,773	2,771	2,773
投入量							

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
選手が安全で快適に走れるコース作りのために、職員のべ20名、スポーツ推進委員のべ70名で行い、同時に市民が安心して応援できる環境を整備した。 ・県地区対抗女子駅伝競走大会 始良地区2位 ⇒京セラ女子陸上競技部を中心にチーム構成され、育成年代の成長が著しく、11秒差の第2位であったが、大会新記録を更新した。	県内では最高レベルの女子駅伝であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境が整うことによって、選手の育成強化と、市民の「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。毎年霧島市で開催されることにより霧島市への経済効果と、魅力度向上が図られた。

事務事業コード	0110070204030102	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地区対抗女子駅伝大会出場者が安全で快適に走れ、観戦者が安全に応援できることは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県下では最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安心して快走出来るコースの整備や、中継所の設置・運営、また、応援する市民の安全確保のための雑踏警備や交通誘導などを考慮すると市が関与しなければならない。また、霧島市が実施しなければ他市で開催される恐れがあり、市への経済効果と魅力度アップが失われる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	安全に大会が実施されていることから、現状の駅伝環境の水準が上限であると考えている。また、市民が安心して応援できる体制のため交通警備員やボランティア員を配置している。但し、例年通りの箇所に交通整理員を配置している状況であるため、道路の状況等も年々変化しているため、MBCとも協議して警察の意見を聞きながら配置場所を検討していく必要がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業の廃止や休止は市民の「観るスポーツ」から「するスポーツ」への意図が達成できなくなり市のスポーツ振興にとって悪い影響が生じる。また、宿泊、飲食、交通などの経済効果にも影響が出る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会 県内最高レベルの男子選手が県内各地を襷でつなぐ大会あり、市として交通整理や中継所の設置、または福祉団体等に協力依頼をしている点で業務内容は類似している。しかしながら、市として直接的に主催者に対して補助金交付等は行っていない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本大会はMBCテレビが主催する大会であり、補助金の削減については主催者側からはこれ以上の削減は、大会自体の開催を考慮しなければならない旨の回答がきており削減余地はないものと考えている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	職員以外にスポーツ推進委員や地元ボランティア(学校・婦人会・幼稚園)の協力を得ている大会である。スポーツボランティア組織の形成や地域を巻き込むことで、将来的には人件費の削減余地はあると思われる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本大会はMBCテレビ、MBCラジオでの生放送、新聞等を通して、市民だけでなく鹿児島県民にも広く周知されている。大会に出場する選手、大会を応援する市民それぞれに対し公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070204030103	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業			担当部	市民環境部
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	赤塚 孝平			
基本事業名	01	スポーツ活動の推進	グループ	スポーツ振興グループ			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	10 教育費			関係法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	07 保健体育費					
	目	02 社会体育振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。

国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)、溝辺地区(球技、駅伝、ウォーキング)、横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)、牧園(ソフトボール、バレー、グラウンドゴルフ、運動会、ゲートボール、ゴルフ)、霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション、ジョギング、駅伝)、隼人地区(ウォーキング、ニュースポーツ、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区29競技)	人	5,377	8,000	3,337	8,000	8,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 霧島市居住者及び勤務者	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通じて親睦を図れた市民の数	人	5,377	10,000	3,337	10,000	10,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	77,999	78,785	91,045	81,149	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地域の活性化や親睦と融和を目的に、霧島地区(昭和33年～)・隼人地区(昭和44年～)・福山地区(昭和52年～)・溝辺地区(昭和58年～)・牧園地区(平成9年～)においてスポーツ祭が行われていた。少子高齢化に伴い、地区によっては選手の選考に苦慮している地区自治公民館がみられる。参加者からは存続を望む声が多い。また、体育部長等からは選手集めに苦労しているとの声もある。

霧島地区では昭和33年から続いている歴史ある事業のため、存続を望む声が多い。

4. 事業費の推移	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,034	2,070	1,807	1,800	0
	事業費	千円	2,034	2,070	1,807	1,800	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各地区では、市民が身近で気軽に参加できるスポーツ事業として、地域の実行委員会等が主催する地域スポーツ事業がある。その企画・運営は、スポーツ推進委員、自治組織の役員等が担っている。大会助成として補助金を実行委員会に支出して活動を支援した。 国分地区(ミニバレー・グラウンド・ゴルフ)、溝辺地区(球技・駅伝・ウォーキング)、横川地区(ミニバレー・グラウンドゴルフ、駅伝)、牧園(ソフトボール、バレー、グラウンド・ゴルフ、運動会、ゲートボール、ゴルフ)、霧島地区(バレー、ゲートボール、レクリエーション)、隼人地区(ウォーキング、ニュースポーツ、ソフトボール)、福山地区(ミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、グラウンドゴルフ)	各地区では運動会・各種スポーツ祭などの自治組織中心の自主的なスポーツ交流事業が展開され、身近な場所で様々な年代が、スポーツを楽しむ場を提供できた。参加者の交流により地域コミュニティが生まれ、子どもの健全育成や高齢者の生きがいづくりに寄与できた。 * 荒天のため中止とした事業 ・国分地区 ソフトボール(9月4日) ・霧島地区 卓球、グラウンド・ゴルフ(9月4日) ジョギング、駅伝(11月13日)

事務事業コード	0110070204030103	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	各地区スポーツ祭の参加者や観戦者が、スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れることは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が気軽にスポーツをする環境の形成は、市民の主体的な取り組みを基本として、自治組織、スポーツ推進委員、市体育協会の競技団体等が連携し実践することが重要なことから市の責務であり妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	スポーツ大会参加者は、それぞれの地区も固定化する傾向にあり、多様化する地域住民のニーズに的確に応えるためには、参加者の年代区分及び競技種目等の見直しが必要であると思われることから向上の余地がある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	各地区のスポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されるとスポーツを通じての親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、地域の活力が寂れていくと感じる市民が増えることが想定される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	地域主体(実行委員会方式)で企画運営されており、市職員(含スポーツ推進委員)の関与は最小限で実施されており、削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しく公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	自主的な運営が図られるよう、各地区スポーツ祭実行委員会への助言・指導を引き続き行う。また、日程や種目については、興味や関心に対応したものを取り入れることにより参加者増を期待する。						
	例年同様、自主的な運営が図られるよう、各地区スポーツ祭実行委員会への助言・指導を行い、年齢、性別、障がいの有無を問わず、誰でも参加できるものを企画し、日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となるよう取り組む。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030104	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
				担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平	
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	01	スポーツ活動の推進		内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。
 ・場 所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行い、展示館への無料見学を実施している。
 ・種 目 ジョギングの部 4.8km (高校生以上)、2.4km (小・中学生)
 駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km
 ・参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人・中学生以下2,000円/人
 駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム・中学生 7,000円/チーム・小学生 5,000円/チーム
 主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会。職員は実行委員会事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 駅伝・ジョギング申込者数	人	1,931	2,500	1,651	1,500	1,500
イ ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	6	6	6	6	6
ウ 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	7	7	7	7	7

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	1,931	2,500	1,651	1,500	1,500
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しんだ人の割合	%	100	100	100	100	100
イ 上野原縄文の森を知ってもらおう	来場者数(イベント参加者数)	人	4,500	6,500	5,000	5,000	5,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する(する、観る、支える)	スポーツ大会等に参加したのべ人数	人	77,999	78,785	91,045	81,149	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。幾多の名称変更を得て、第17回大会から上野原縄文の森駅伝へ名称変更。県内外からの参加があり駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,150	2,000	2,000	2,000	0
事業費		千円	2,150	2,000	2,000	2,000	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
昨年度は、第25回記念大会であったため、「25回記念競技の部(25km走、25人26脚25m走)」を実施したが、本年度は通常の競技種目にて開催した。特別協賛企業9社、広告協賛企業48社の計57社に協力をいただき、また、上野原テクノパーク立地企業には駐車場を貸与いただいた。昨年に引き続き、県と協働して上野原縄文の森展示館への無料見学の取組みも行った(12名)。 スタッフは、スポーツ推進委員24名、霧島市陸上競技協会18名、職員46名、高校生ボランティア32名、鹿児島第一医療リハビリ専門学校スポーツリハビリテーション部14名の計134名に協力をいただき、運営を行った。	前週の鹿児島マラソンの影響等で参加者は伸び悩んだが、参加者の親睦融和が図られ、市民の健康増進、地域の連帯感の高揚、地域興しにも大きな成果を上げることができた。また、大会に賛同していただける企業も多数あり、地域に根付いたイベントとして盛り上がりが見られた。

事務事業コード	0110070204030104	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	縄文の森駅伝大会参加者が、ジョギングや駅伝を楽しんでもらったり上野原縄文の森を知ってもらうことは、市民が(みる、する、支える)それぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民スポーツ活動を充実させることから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の「するスポーツ」実現のため本大会を行うことにより、運動習慣を継続する良いきっかけである。また、上野原縄文の森で開催することで、この地域を広くPRすることができるため、市が行うことが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	昨年度の課題(選手の安全確保、中継所の位置の変更、危険箇所へのスタッフの配置、看板設置等の配慮)については、概ね改善できたが、今後も、参加者や大会関係者の声を十分に考慮することで、更なる成果向上も期待できる。一方で、補助金や人員の減により大会運営は年々厳しくなっており、スタッフの負担増についての配慮が必要である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民参加型、交流型のスポーツイベントの機会がなくなることは、スポーツを行うというきっかけづくりを抑制することになる。また、本大会のような長距離型のイベントは子どもから高齢者まで、ライフステージに応じたスポーツ習慣化が必要であり、廃止することは生涯スポーツ環境の形成に結び付かない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は全額補助金である。大会の運営費は市補助金の他、市内外の企業や事業所からの協賛、参加者からの参加費を徴収し賄っている。ここ数年年次的に補助金を減額してきているが、サービスの質の低下や必要な設備等への影響が出始めており、これ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	交通警備や会場設営の委託、自動計測装置の導入により、必要な経費の削減は行っている。スポーツ推進委員や市陸上競技協会、市職員以外への大会運営への協力は困難であり、これ以上の削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が主催する唯一のスポーツイベントであり、市及び縄文の森のPRも兼ねたものである。そのため、公費約50%投入は妥当であり、公平・公正である。参加(見学も含め)することで受益機会は平等であると考ええる。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	年次的な補助金の減額に加え、ここ数年参加者も減少傾向にあり、大会運営は厳しい状況となっている。また、参加者駐車場として、上野原縄文の森及び上野原テクノパーク立地企業より無償で土地の提供を受けているが、台数が不足している状況が続いており、これらの問題解決の検討を行う必要がある。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	本大会を通じてより多くの方が運動や健康に関心を持ってもらうほか、老若男女、障がいの有無を問わず参加できるよう努める。また、中長期的には、霧島市体育協会、総合型地域スポーツクラブ等の参画を促し、民間のアイデアを取り入れつつ、より良いスポーツイベントとなるよう検討したい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報					
事務事業コード	0110070204030108	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
政策名	04 育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課	担当課長	赤塚 孝平
施策名	03 スポーツの振興	グループ	スポーツ振興G	内線番号	3962
基本事業名	01 スポーツ活動の推進	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
予算科目	会計	一般会計	根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例	
	款	10 教育費			
	項	07 保健体育費			
	目	02 社会体育振興費			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- 生涯スポーツの推進に関すること。
- スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。
- スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。
- 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

組織は、スポーツ関係団体、及び校種別代表、計9人の委員で組織している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 開催されたスポーツ審議会の回数	回	3	3	3	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア スポーツ審議会委員の数	スポーツ審議会委員	人	9	9	9	9	9
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 教育委員会の諮問に応じて審議・答申しやすくなる	スポーツ審議会に諮問した件数	件	3	5	2	2	2
イ 予算編成の際、事業に関する要望等について、意見を述べやすくなる	予算要望件数及びその他の要望件数	件	3	5	2	2	2
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ大会等に参加する。※参加「する、観る、支える」の全てを指す。	スポーツ大会等の競技者、観客、スタッフのべ人数	人	77,999	78,785	91,045	81,149	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

スポーツは、これまでの競技志向に加え、健康志向、レジャー志向などへと広がりをみせている。一方で人間関係の希薄化や運動不足などによる生活習慣病の増加といった問題が生じている。こうした中、スポーツの持つ役割も体力向上や健康の保持増進、青少年の健全育成といった本来的な役割から、生活習慣病の予防やストレスの防止、地域コミュニティの活性化やスポーツを通じた都市施設の整備、地域経済への貢献などといった社会的役割へ拡大している。当審議会は、教育委員会の諮問を受け平成25年3月スポーツの持つ役割の拡大を踏まえ、スポーツ振興の基本的な考え方とその考え方に基づく施策の展開を示す「霧島市スポーツ振興計画」を策定した。

4. 事業費の推移

投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	110	144	107	125
	事業費	千円	110	144	107	125

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツ審議会を3回開催した。 9月国分中央高等学校体育祭の集団演技の視察 12月国分中央高等学校ダンス部定期発表会の視察 3月スポーツ振興計画の進捗状況の点検	平成28年9月、国分中央高等学校スポーツ健康科の集団演技を観戦し教育・訓練された規律レベルの高さを体感した。 平成28年12月、国分中央高等学校ダンス部の定期発表会を視察し、演技、演出等の技術を目の当たりにし、生徒たちの可能性の高さを感じた。 また、平成29年3月開催の審議会で霧島市スポーツ振興計画の進捗状況の確認を行った。各団体の事業報告のほか、小体連、中体連、国分中央高等学校の大会実績等について報告し、今後のスポーツ振興への提言がなされた。

事務事業コード	0110070204030108	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	生涯スポーツの振興を図るには、スポーツ関係団体の代表する審議会に意見を求め、それぞれの観点から市民の(みる、する、支える)スポーツ活動を充実させることにつながるから意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法(昭和23年法律第78号)第31条の規定、及び、霧島市スポーツ推進審議会条例(平成18年条例第31号)第1条の規定に基づき、設置されたものであることから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市のスポーツ振興計画の作成や予算編成の際には、スポーツ推進審議会にも意見を求めており、同審議会から出された意見等については、保健体育課及び教育委員会で協議・検討し、市のスポーツ行政へ反映させている。施策等について、もう少し踏み込んだ具体的な提言等により、成果の向上があると思われる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	審議会は、法第35条に規定するもののほか、霧島市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議する必要があるため、廃止の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は、委員に対しての出席報酬及び費用弁償のみで削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市のスポーツ環境の充実をはかるため、スポーツ関係団体の代表する審議会の意見を、市のスポーツ施策に反映させるという重要な業務のため、正職員以外の対応や委託はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	審議会委員は、スポーツを司る組織の代表から構成された組織であり、教育委員会の諮問に応じて審議・答申や予算編成の際の事業等に関する要望など、市に対して意見を述べる機関であり、最終的な受益者は市民全体であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在、国分中央高等学校行事視察が2回あるが、より幅広いスポーツ振興の現状を把握するため、小体連や中体連、各種社会体育・生涯スポーツ団体等の行事などを視察するよう取り組みたい。また、審議会時のみでなく、逐次委員に対し情報提供を行い、スポーツ振興に対し、具体的な提言をいただけるよう取り組みたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	世代、団体問わず、スポーツ振興事業について、現状把握をしていただくため、視察等の機会を拡大し、審議会の充実に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030201	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	赤塚 孝平		
基本事業名	02	スポーツ環境の整備	グループ	スポーツ振興G		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度)		
	款	10 教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)		
	項	07 保健体育費		関係法令・条例等		
	目	03 社会体育施設費		霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設管条例		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市国分清水309番地、施設及び開設日:国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間:8:30~22:00

【指定管理者】㈱エルグ・テクノ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】国分体育館(540円/時間)、国分運動公園陸上競技場(960円/時間)、国分球場(360円/時間)、庭球場(210円/面)、多目的広場(480円/時間)、多目的屋内運動場(580円/時間)、国分武道館(380円/時間)、国分弓道場(460円/回)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	8	8	8	8	8
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	9	13	9	12	12
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	10	13	10	12	12

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	68	70	56	70	70
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	230,110	250,000	232,526	250,000	250,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分運動公園・国分武道館管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っている。管理運営制度時と比較して今なお利用者数が増加傾向にある。施設利用者からは接客サービスや、施設利用時の柔軟性が良くなったとの意見がある一方、多様化する利用者ニーズ、例えば、トイレの洋式化や施設の改修をして欲しいとの意見がある。また、議会からは修繕時の利用できない期間が長いとか、大会やイベント等が重複した時の駐車場不足を指摘されている。

4. 事業費の推移

		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	7,920	127,520
		県支出金	千円	0	0	14,000	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	48,578	109,212	120,299	182,779
		事業費	千円	48,578	109,212	142,219	310,299
投入量							

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組)	(2) 平成28年度の成果
<p><取組内容を数値等により具体的に記載></p> <p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 47,185千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 12件、12,125千円 改修工事 3件、78,978千円(内17,490千円地域振興推進事業) 指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回 	<p><左記の実績(取組)による成果を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは施設運営の満足度において74.2%が満足・やや満足という結果を得られた。 市としては、12件の修繕、3件の改修工事を行い、施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。 指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携が図られた。

事務事業コード	0110070304030201	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することは、スポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
A 目的妥当性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	面(コート)貸しの空き時間の振り分けにより利用者はある程度増える要素がある。また、老朽化した施設の早急な改修を行い施設利用の総合的な印象を確保できる。
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設は、スポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設・設備の経年劣化により、各所において不具合が生じているが、霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう、修繕を行う必要がある。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、施設・設備の修繕等を行う最適な年度と位置づけ、徹底した点検と保守管理を行い、引き続き、安心・安全に利用できる施設運営を目指す。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性							
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030202	事務事業名	国分総合プール管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	03	スポーツの振興			担当課長	赤塚 孝平
基本事業名	02	スポーツ環境の整備			グループ	スポーツ振興G
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市市営プールの設置及び管理に関する条例	内線番号 5094
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年):屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、ふれあい温泉センター(H3)、開館時間:屋内プール及び屋外プール10:00~21:00、ふれあい温泉センター10:00~18:00

【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間:平成27年度~平成31年度

【主な利用料金】屋内・屋外プール 一般:420円 高齢者:210円 児童生徒:210円 未就学児:無料
ふれあい温泉センター 110円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	19	12	28	30	30
ウ 指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	12	12	28	30	30

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	68	70	72	70	70
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	74,479	76,000	72,149	76,000	76,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分総合プール管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在三期目に入っている。指定管理者の運営サービスは向上傾向と見受けられるが、施設の老朽化が進む中、利用者の健康意識向上や、多様化する要望に改善が追いついていない状況である。中でも当時レジャー性の重視、かつ開放的な施設としてガラス張りの構造で建設されたが、今では健康志向での利用者が多く、日焼け予防のための遮光を求められる状況であり、環境の変化が事務事業を進めるにあたり影響を及ぼしている。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	41,035	37,365	34,863	34,742	0
事業費		千円	41,035	37,365	34,863	34,742	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 32,520千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 5件、3,607千円 中央監視装置リース長期継続契約(5年) 年722千円 指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは施設運営の満足度において、前年度より11.3%上昇した。 市としては5件の修繕を行い、老朽化した施設、設備の更新を図ることができた。 中央監視装置リースの長期継続契約を行い、施設・設備管理の利便性が図られた。 指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携が図られた。

事務事業コード	0110070304030202	事務事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、市の政策である育み磨きあつまづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	団体利用時間、専有利用の調整等が効率よくできることで、成果が向上する余地があると思われる。また、経年劣化による設備・備品の更新を年次的に行っていけば、より利用者のニーズに応えられると考える。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030202	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部	
				担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平	
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 スポーツ基本法		
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。小学校(屋内34箇所・屋外35箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外12箇所)
 申込み方法: 国分地区屋外施設においては各地区自治公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。
 開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。
 受益者負担: 国分地区屋外施設においては地区自治公民館、他の地区においては学校へ直接確認。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	80	94	81	94	94
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツ活動ができる	利用者数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った人)	延人	115,475	150,000	117,379	150,000	150,000
イ スポーツ活動ができる	使用団体数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った団体数)	団体	253	260	237	260	260
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成23年に全面改正されたスポーツ基本法第13条で、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するように努めなければならないこととされており、これに基づき学校開放施設整備の取組を行っている。体育施設の経年劣化が進み、整備・改修を要する施設が増えている。また、条例により使用料を徴収することとした。利用日誌の管理集計については管理指導員(教頭等)が行なう。毎月、保健体育課へ報告をもらい集計表をもとに納付書を発行。入金確認を行う。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	2,319	2,503	2,347	2,465	0
	一般財源	千円	0	145	81	100	0
事業費		千円	2,319	2,648	2,428	2,565	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体延数:237団体 ・利用延人数:117,379人(見込み)※3月分前年度 ・平成22年度の条例改正により体育館の使用料について統一した基準に則って実施し、利用団体の登録教務、使用料納付書の請求業務、集計業務、管理指導員への報酬支払い業務を行った。 	市民スポーツの推進、コミュニティ活動の促進が図られた。また、学校体育施設を開放し、活用することにより地域住民の親睦とコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興に成果を上げることができた。また本事業で事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。

事務事業コード	0110070204030202	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	学校体育施設を利用しスポーツをする人が増えているということは、スポーツを行う環境が整っているということであり、またスポーツを行うことで、利用している市民同士がつながることで、より一層スポーツを行う環境づくりに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法第13条の規定を受け、実施している。学校体育施設において、市民がスポーツ活動を通じ健康づくり・仲間づくりを行う場を提供することは、公共として必要であり、また維持管理に要する費用の一部を市が負担することは学校施設を使用していることと、安全に施設を提供する面からも妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域や立地条件によって利用の少ない学校や、利用実績のない学校がある一方で、調整しなければならないほど利用団体の多い学校もある。当課で利用状況を把握することが出来ているので、新規利用で学校体育施設の利用の相談があるときは、学校までの距離などにおいて利用団体に支障が無い範囲で、近隣の利用者数が比較的小さい学校を紹介するなど対応しているが、また利用の頻度に偏りがある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	237団体が学校施設を利用しており、本事業を廃止・休止した場合、多くの市民がスポーツ活動をする場がなくなり、子どもたちのスポーツ活動についても、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなる可能性がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	今年度は備品の購入は行っておらず、修繕については必要最低限のものとし、事業費としては、各学校へ施設の維持管理に要する消耗品費の7千円と管理指導員へ1日あたり350円の報償費を支払っているが、実績に応じた報酬負担でありこれ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市の歳入としての使用料の徴収業務が主な内容である。各利用団体に月1回の納付書を送付する業務と、年度末に管理指導員への年1回の謝金支払いが主な業務内容であり削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	学校行事に支障の範囲で学校体育施設を、年間を通じて定期的に利用する市民を対象に開放しているため一部の受益者に偏ってはいない。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	主に利用者の実績報告を各学校の教頭に依頼して行っているが、教頭も通常の学校業務に日々追われている中で本業務に協力している状況であるため、毎月の実績報告が遅れることがある。実施報告に基づいて行う納付書発送が、遅くなれば利用者にも迷惑をかけてしまう可能性があるため、教頭に依頼している立場ではあるが、毎月決められた時期までに確実に報告してもらうよう親切丁寧に指導していく必要がある。また、今年度行われた組織改正に伴って、本課が教育委員会から市長部局へと移ることとなった。これまで同じ教育部局として学校と本課の連携がスムーズに取れていたが、本年度も教育委員会を含めた学校と本課が、これまでと同様に連携を図る必要がある。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	これまでと同様に、利用者にも迷惑がかからないよう、毎月決められた時期までに利用者報告してもらうよう親切丁寧に指導していく必要がある。また国分地区はグラウンド照明の管理など自治公民館に依頼しており、これまで以上に地域住民の理解と協力が得られるよう、持続可能な運営の仕方を検討する必要があると思われる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報	
事務事業コード	0110070304030203
事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業
担当部	市民環境部
担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04 育み磨きあうまちづくり
担当課長	赤塚 孝平
施策名	03 スポーツの振興
グループ	スポーツ振興G
基本事業名	02 スポーツ環境の整備
内線番号	3962
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 07 保健体育費 目 03 社会体育施設費
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H28 ~ H32)
評価区分	標準評価 評価対象 1次評価 関連計画 霧島市都市公園条例・霧島市国分児童体育館の設置及び管理に関する条例 霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地: (国分海浜公園) 霧島市国分下井2512番地(北公園) 霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園) 霧島市国分上井183番地(児童体育館) 霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園) 霧島市国分重久5550番地2 (開設日): 国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間: (国分海浜公園、北公園、南公園) 8:30~22:00 (児童体育館) 10:00~22:00 (春山緑地公園) 8:30~18:30(10~3月は17:00まで)

【指定管理者】(一財) 霧島市施設管理公社、指定期間: 平成25年度~27年度

【主な利用料金】国分海浜公園体育館: バレーボール(1面につき1時間) 一般190円・子ども100円、国分北公園多目的広場: ソフトボール(1面につき1時間) 190円、国分南公園: ソフトボール場: 190円(1時間)、国分児童体育館: 190円(1時間)、春山緑地公園: 野球(1面につき) 210円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	11	11	11	11	11
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	3	5	3	3	3
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	3	5	3	3	3

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」どちらかといえば良かった」の割合	%	-	80	65	80	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	120,364	106,000	119,191	120,000	120,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業の指定管理者制度導入は平成19年に開始され、現在三期目の最終年度に入っている。三期目は公募者が無く、直接指定で施設管理公社が管理を行っている。施設内には防風の松が点在しているが、松の根の隆起による施設の損傷や、高所の枝木が隣接民家の支障になっている。また、第1グラウンドにおいては天然芝が剥がれ、利用者からの全面改修要望が出ている。

4. 事業費の推移

事業費	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	2,000	0	0	0	0
一般財源	千円	48,897	33,772	33,572	33,772	0
事業費	千円	50,897	33,772	33,572	33,772	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 指定管理料実績 33,618,000円</p> <p>【市の活動実績】 ・修繕 1件 1,233,360円 ・指定管理者との定期的な打合せ</p>	<p>・安定した利用者の確保が図られた。 ・市として、1件の修繕(児童体育館雨漏り修繕)を行い、施設を良好な状態で維持できた。</p>

事務事業コード	0110070304030203	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民アンケートの結果等をふまえ、指定管理者と適宜協議を行いながら、市民満足度の底上げを図る。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の経年劣化が目立つが、指定管理者の多大なる協力を得ながら施設の管理運営を行っている。市でも、危険箇所、法令上必要な最低限の修繕は行っているが、利用者の利便性向上を考慮した施設運営ができるよう、指定管理者と更なる連携を図りたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	国分地区のスポーツの拠点として、引き続き安心・安全・快適に利用できる環境整備に努める。また、平成31年度開催の全国高校総体、平成32年度開催の国民体育大会鹿児島大会の練習・合宿会場になることも予想されるため、全国から訪れる選手や来場者が快適に利用できるよう整備を進めるとともに、国事として相応しい施設・設備の充実を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報	
事務事業コード	0110070304030204
事務事業名	溝辺上床運動公園管理運営事業
担当部	市民環境部
担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04 育み磨きあうまちづくり
担当課長	川崎 秀一郎
施策名	03 スポーツの振興
グループ	地域振興グループ
基本事業名	02 スポーツ環境の整備
内線番号	58-3391
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 07 保健体育費 目 03 社会体育施設費
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)
評価区分	標準評価 評価対象 1次評価 関連計画 霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市溝辺町麓3391番地・溝辺町有川117番地26、施設及び開館日:溝辺体育館(昭和60年)、溝辺運動場(昭和49年)、溝辺庭球場(平成元年)、溝辺グラウンドゴルフ場(平成10年)、溝辺多目的交流施設上床ドーム(平成16年)、溝辺弓道場(平成8年)、上床公園[旧スポーツ公園](平成10年)、開館時間:8:30~22:00(上床公園:8:30~19:00開園時間は時期により変動)

【指定管理者】きりしまPPP株式会社、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】溝辺体育館(370円/時間)、溝辺運動場(210円/時間)、溝辺庭球場(650円/時間)、溝辺グラウンドゴルフ場(70円/1人1時間)、溝辺多目的交流施設上床ドーム(160円/時間)、溝辺弓道場(110円/時間)、上床公園(無料)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	7	7	7	7	7
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	5	3	3	3	3
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	5	3	3	3	3

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	56	80	39	80	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	89,080	108,000	91,665	108,000	10,800
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

溝辺上床運動公園管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在3期目に入っている。施設利用に関してはスタッフの接客態度等、概ね満足している意見がある一方、公園敷地が広大なために年間を通しての美化作業の徹底が難しいという課題もある。なお、各施設は老朽化が着実に進み、今後は施設の維持管理、改修等が問題となってくる。

4. 事業費の推移

単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	420
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 6,125	6,124	6,124	9,542
	事業費	千円 6,125	6,124	6,124	9,962

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理実績】 19,467,000円 ※内訳 ・指定管理料実績(保健体育課分)6,123,522円 ・指定管理料実績(生涯学習課分)13,343,478円 【市の活動実績】 ・修繕 150,452円 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回	・上床公園施設全体の利用者アンケート結果では、施設運営の満足・やや満足の満足度割合が39%程度で、昨年より満足度割合が悪くなったため、指定管理者は担当課と連携して満足度が低下した原因を精査しつつ、施設利用者へのサービス向上を図る必要がある。 ・市としては、予算の範囲内で修繕を行い、施設は老朽化が進んでいるが、維持管理に努め、利用者の利便性の向上を図った。

事務事業コード	0110070304030204	事務事業名	溝辺上床運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	上床公園内で利用者の比較的少ない施設等は、広報及び自主事業を通じて利用者がある程度増える要素がある。また、老朽化した施設の早急な改修を行うことで、利用者の利便性を確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後、各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり、統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉の向上を目的とするものであるため、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	平成32年度国体開催予定場所に指定されていることから、安全に利用できる施設として不具合箇所等の点検を綿密に行い、必要な整備、修繕を進めていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報					
事務事業コード	0110070304030205	事務事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	桑木 治夫
施策名	03	スポーツの振興		グループ	地域振興グループ
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	6303
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)	
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市営温水プール管理条例・霧島市営体育施設管理条例	
	項	07 保健体育費			
	目	03 社会体育施設費			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市横川町上ノ3392番地3、施設(開設年):横川温水プール(平成3年)、横川体育館(平成4年)、横川運動場(平成6年)、横川庭球場(平成6年)、横川ジョギングコース(平成6年)、開館時間:8:30~22:00(ただし、プールは10:00~21:00)

【指定管理者】㈱エルグ・テクノ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】横川温水プール(310円/回)、横川体育館(740円/時間)、横川運動場(250円/時間)、横川庭球場(220円/面)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	5	5	5	5	5
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	7	7	7	7	7
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	12	12	12	12	12

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の期待した以上に良かった「期待どおりだった」の割合	%	61	65	64	65	65
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	63,336	64,000	64,571	65,000	65,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

横川運動公園管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年9月に開始され、平成27年4月から三期目に入っている。
 直接管理運営時と比較して利用者数が年々増加している。
 施設利用者からは、接客サービスの向上や施設利用時の柔軟性が利くようになったなど、施設運営面に対し良い評価を得ている。しかし、体育館の照明を明るくしてほしいなど施設設備の充実を求める意見も多く寄せられている。

4. 事業費の推移

事業費	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	395
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	60,560	27,756	25,756	28,151
事業費	千円	60,560	27,756	25,756	28,546	0
投入量						

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 25,756,000円(当初27,756,000円) <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 6件、 2,650,952円 施設改修 0カ所、 円 改修設計 0カ所、 0円 指定管理者との定期的な打合せ(月1回) 12回 	<ul style="list-style-type: none"> 横川温水プール送水ポンプ修繕による年末年始のプールの一時休館等があったが、運動公園全体の利用者数は平成27年度に対し、1,235人の増加となった。 利用者アンケートでは、施設運営の満足度において各調査項目で満足・やや満足という結果を得られた。 横川運動公園東屋改修工事及び横川体育館スポーツトラクター修繕を実施し、市として施設の感涙運営を良好な状態で維持し、利用者の利便性・安全性の向上を図った。 ㈱エルグ・テクノを二期目の指定管理者として指定し、さらに充実した施設の管理運営が行われるよう連携を図った。

事務事業コード	0110070304030205	事務事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	平日の利用者が少ないため、各施設の利用促進を図る。また、老朽化した施設設備の改修を行い、利用者の良好な印象を確保する。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、指定管理者を監視・監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	地区内の運動・公園施設であるにもかかわらず、「ふれあいバス」の接続がなされていない。平日の特に地区内の利用者の増化を図るため「ふれあいバス」の接続を検討する。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	横川地区のスポーツの拠点として、引き続き安心・安全・快適に利用できる環境整備に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報											
事務事業コード	0110070304030206	事務事業名	牧園みやまの森運動公園管理運営事業			担当部	市民環境部				
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課							
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	前田 幸一							
基本事業名	02	スポーツ環境の整備	グループ	地域振興G							
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)					
	款	10 教育費				根拠法令・条例等	霧島市体育施設設置管理条例				
	項	07 保健体育費					霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画				
	目	03 社会体育施設費									
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画						
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>											
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)											
【施設】所在地:霧島市牧園町宿窪田2992番地 施設及び開館日:牧園アリーナ(平成8年)、牧園みやまの森運動場(平成5年)、牧園ゲートボール場(平成5年) 開館時間 8:30~22:00 【指定管理者】さきしまPPP株式会社 指定期間:平成27年度~平成31年度 【主な利用料金】牧園アリーナ(740円/時間)、牧園みやまの森運動場(210円/時間)、牧園ゲートボール場(60円/時間)											
① 活動指標 (事務事業の活動量)					単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)	
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3	3	3	3		
イ	指定管理者による自主事業実績数	件	6	10	6	10	6	10	10		
ウ	指定管理者による自主事業利用者確保のためのPR回数	回	6	10	6	10	6	10	10		
(2) 事務事業の目的											
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)		
ア	市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756			
イ											
ウ											
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)		
ア	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	60	50	90	50	50			
イ	市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	58,162	52,015	54,506	53,570	53,570			
ウ											
(3) 上位の基本事業											
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)		
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0				
イ											
ウ											
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)				4. 事業費の推移							
牧園みやまの森運動場の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、平成28年度は三期目の2年目であった。利用者数は目標値を上回っているが、前年度と比較して約94%であった。減少の要因として悪天候によるキャンセルが多かったことがあげられる。施設利用者からは施設設備の充実や清掃美観の維持などを求める意見があるが、総合的な印象は期待以上または期待通りの印象を持つ利用者が多かった。				事業費投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
					県支出金	千円	0	0	0	0	0
					地方債	千円	0	0	0	0	0
					その他	千円	29,300	0	0	0	0
					一般財源	千円	24,211	24,084	23,984	26,330	0
					事業費	千円	53,511	24,084	23,984	26,330	0
5. 平成28年度の実績及び成果											
(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>						
【参考:昨年度の内容】 【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 23,984千円 【市の活動実績】 ・修繕 2件 2,006千円 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回					・指定管理三期目の2年目であったが、前年と比較すると利用者数は減少した。原因として悪天候等によるキャンセルが多かったことがあげられる。 ・グラウンドのトイレの洋式化や照明設備の改修など積極的に改修を行い施設を良好な状態で維持するよう努め、利用者の安全な環境が保たれた。						

事務事業コード	0110070304030206	事務事業名	牧園みやまの森運動公園管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用の少ない平日の利用促進、及び利用頻度の少ない施設の多目的に利用できる施設を整えることにより利用者の増加の可能性がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民全体の競技力、健康増進を図ることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070304030207	事務事業名	牧園B&G海洋センター管理運営事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	前田 幸一		
施策名	03	スポーツの振興		グループ	地域振興G		
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	5416		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)			
	款	10 教育費		根拠法令・条例等	霧島市牧園B&G海洋センターの設置及び管理に関する条例		
	項	07 保健体育費					
	目	03 社会体育施設費	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市牧園町高千穂3311番地10 施設及び開館日:牧園B&G海洋センター体育館(昭和55年)、牧園B&G海洋センタープール(昭和56年) 開館時間:体育館 8:30~22:00、プール 7月~9月開館 9:00~21:00

【指定管理者】福地産業(株) 指定期間:平成27年度~平成31年度

【主な利用料金】体育館(190円/時間)、プール(210円/回)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	2	2	2	2	2
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	2	5	4	7	7
ウ 指定管理者による自主事業利用者確保のためのPR回数	回	2	5	2	7	7

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	53	80	99	80	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	9,860	10,000	9,304	10,000	10,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

牧園B&G海洋センターの指定管理者制度は現在3期目に入っている。同時に管理している国民体養地の利用者に対して体育館やプールを案内し利用促進を進めていることなどもあり利用者数が増加傾向にあるが、施設の老朽化により雨漏り等改修が必要な状態である。意見として「雨漏りを修理してほしい」「老朽化が目立つ」など施設改修の要望やトレーニングの器具の新たな設置など利用者への要望もある。また、職員の対応が良いという意見が大変多い。

4. 事業費の推移

単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)		
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,698	2,848	4,227	2,798	0
	事業費	千円	2,698	2,848	4,227	2,798	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 2,524,000円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との定期的な打合せ(月1回) 12回 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは90%以上の人から総合的な印象や施設設備の満足度が満足・やや満足という結果を得られ、職員の対応がよくなったという意見が多く寄せられている。しかし、施設の老朽化による雨漏りなどがあり改修の要望がある。

事務事業コード	0110070304030207	事務事業名	牧園B&G海洋センター管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツをすることで、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあまらづくりにつながることから、市が行うべきである。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	B&G指導員による屋内競技及びプールを利用した自主事業を継続的に利用増につなげていくことで施設利用の総合的な向上が確保できる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民全体の競技力、健康増進を図ることから妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の管理運営について、これまで以上に利用者サービスに努めるとともに、国民休養地を含めた利用者に対して体育館やプールの案内を行ったり、自主事業を積極的に行い、利用者の増加に取り組む。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	施設の老朽化による体育館の雨漏りに伴う屋根や、プールの床面等の改修を行なうため、平成28年度に設計業務を行った。平成30年度にはBG財団の補助を受けて改修を進める見込みである。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030208	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業		担当部	市民環境部
					担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			担当課長	赤塚 孝平
施策名	03	スポーツの振興			グループ	スポーツ振興G
基本事業名	02	スポーツ環境の整備			内線番号	5094
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)
	款	10 教育費				
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市営体育施設設管条例

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】所在地:霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日:隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、開館時間:8:30~22:00						
【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間:平成27年度~31年度						
【主な利用料金】隼人運動場ソフトボール1面(130円/時間)、隼人体育館バレーボール1面(190円/時間)、隼人武道場1面(100円/時間)、隼人弓道場(50円/回)						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	4	4	4	4	4
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	100	100	90	100	100
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	100	100	90	100	100

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」どちらかといえば良かった」の割合	%	41	75	51	60	60
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	140,287	135,000	141,733	145,000	145,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)	
隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っている。特に緊急の修繕・改修の必要性はないが、床の研磨やバスケットボールのルール改正に伴うコートラインの改修要望が関係団体からあがっている。		事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
				県支出金	千円	0	0	450	20,000	0
				地方債	千円	0	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0	0
				一般財源	千円	13,317	13,284	13,309	33,284	0
				事業費	千円	13,317	13,284	13,759	53,284	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 1,332万円 【市の活動実績】 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回	・今年度は三期目の2年目を迎え安定した利用者数の確保が図られた。 ・利用者アンケートでは施設運営の満足度において57%が満足・やや満足という結果を得られた。昨年度と比較して、満足・やや満足との回答が増加している。 ・市としては、指定管理者と協力のもと施設を良好な状態で維持し、利用者の利便性の向上が図られた。 ・年間多数の自主事業講座を開講しており、多くの受講生を得られたが、利用者アンケートでは、講座内容に満足・やや満足している人の割合が減少したため、今後はより一層内容の充実した講座を開講したい。

事務事業コード	0110070304030208	事務事業名	単人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者アンケートで一番評価が低かった「教室・講座の内容」は、利用者のニーズを把握し、回数や内容を検討し、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する必要がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	地域のスポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の生きがいづくり、福祉を増進するものであり、施設としては、誰でも利用する事が可能であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者アンケートの結果で、満足・やや満足と回答した方が昨年度と比較して増加したことから、今後も継続して利用者に満足してもらえるよう、指定管理者と協力して運営していきたい。また、不満足度で一番低い評価を受けたのが「教室・講座の内容」であった。今後は、受講者のニーズに合わせたプログラムを検討・改善し、より健康的で気軽にスポーツを楽しめることができる教室や講座を開設できるよう努めていく必要がある。また当施設は、平成32年に鹿児島国体のハンドボールが開催予定であることから照明設備のLED化を進めたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	平成32年の鹿児島国体のハンドボール競技の開催に向けて、床研磨など、必要な改修・修繕を進めていきたい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報					
事務事業コード	0110070304030209	事務事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		内線番号	3962
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度)	
	款	10 教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)	
	項	07 保健体育費			
	目	03 社会体育施設費	根拠法令・条例等	霧島市営プールの設置管理に関する条例・霧島市営体育施設設備条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:(霧島市隼人庭球場・隼人健康温水プール)霧島市隼人町松永1678番地1、(隼人温水プール)霧島市隼人町松永二丁目80番地 施設及び開設日:霧島市隼人庭球場(平成15年寄附)、隼人健康温水プール(平成16年)、隼人温水プール(昭和44年)
開館時間:隼人庭球場8:30~21:00、隼人健康温水プール・隼人温水プール10:00~21:00

【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間:平成27年度~31年度

【主な利用料金】隼人庭球場:1コートにつき220円/時間(児童生徒は半額)、隼人健康温水プール・隼人温水プール:一般310円/回、高齢者・児童生徒160円/回

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	3	3	3	3	3
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	130	100	125	125	125
ウ	指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	130	100	125	125	125

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」どちらかといえば良かった」の割合	%	68	90	76	80	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	42,673	50,000	39,342	45,000	45,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

隼人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在三期目に入っており、利用者アンケートでも満足度が高く、年々利用者が増加している。しかしながら隼人温水プールは経年劣化による老朽化が著しく、ポンプ等の設備の損傷が増えてきている。また、トイレの洋式化や冬場に隙間風が入り込む、庭球場に関してはハードコートに亀裂が入っているため改善の要望がある。

4. 事業費の推移

		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,865	19,872	19,942	19,872	0
	事業費	千円	22,865	19,872	19,942	19,872	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組)	(2) 平成28年度の成果
<p><取組内容を数値等により具体的に記載></p> <p>【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 1,990万円</p> <p>【市の活動実績】 ・修繕 2件、2,060千円 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回</p>	<p><左記の実績(取組)による成果を記載></p> <p>・三期目の2年目を迎え安定した利用者数の確保が図られた ・利用者アンケートでは施設運営の満足度において73%が満足・やや満足、不満足・やや不満足は1.8%であった。昨年度と比較して満足・やや満足と回答した方が増加した。 ・市としては、2件の修繕、設備修繕を行い、施設の維持管理に努めた。 ・多数の自主事業講座を開講することができた。</p>

事務事業コード	0110070304030209	事務事業名	単人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することはスポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあうまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	利用者アンケートで一番評価が低かった「教室・講座の内容」を講座の回数や内容を指定管理者と検討し改善することにより、更なる満足度の向上に繋がる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設は地域のスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で市民活動においては不可欠な施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は指定管理者を管理監督する役割が義務付けられている。施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、指定管理者の適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の生きがいがづくり、福祉を増進するものであり、施設としては、誰でも利用する事が可能であることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者アンケートの結果より、一番低い評価を受けたのが「教室・講座の内容」で5%であった。今後は受講者ニーズの把握や開設回数の検討・改善を行いたいと考え、利用者に満足してもらえよう、指定管理者と協力して行っていきたい。またこの施設は2つのプールを持っているが、重大な事故が起らないよう、今後もより一層危機管理に努めていきたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	当該施設の中には、老朽化が激しく、構造的にも利用者に不便を与えているため、関連計画をもとに施設の改修や必要な備品の購入等を行い、利用者の不便にならないよう努めていきたい。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070304030210	事務事業名	福山地区運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	03	スポーツの振興		担当課長	松下 昭典	
基本事業名	02	スポーツ環境の整備		グループ	税務グループ	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 ~ H31)	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例・霧島市福山プールの設置及び管理に関する条例	
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地:霧島市福山町福山6346番地・霧島市福山町福山5290番地61・霧島市福山町福山2962番地1、施設及び開館日:まきはばドーム(平成14年)、まきはばら運動公園多目的広場(平成22年)、福山多目的交流施設(平成13年)、福山パークゴルフ場(平成13年)、牧之原運動場(昭和52年)、福山体育館(昭和56年)、福山プール(平成20年)、管理棟(平成28年)、開館時間8:30~22:00
 【指定管理者】さきしまPPP(株)、指定期間:平成27年度~31年度
 【主な利用料金】まきはばドーム(160円/時間)、まきはばら運動公園多目的広場(1,200円/時間)、福山パークゴルフ場(250円/1ラウンド、500円/1日)、牧之原運動場(300円/時間)、福山体育館(440円/時間)、福山プール(210円/時間)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	指定管理数	施設	7	8	9	9	9
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	38	40	38	40	40
ウ	指定管理者による自主事業実施数自主事業実施利用者確保のためのPR回数	回	38	40	38	40	40

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合	%	31	50	39	50	50
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	84,907	92,000	81,304	92,000	94,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う人の割合	%	43.4	42.5	未把握	43.0	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

福山地区運動公園施設の指定管理者制度導入は平成18年に開始され、現在3期目に入っている。利用者数が管理運営制度時と比較して増加傾向にある。施設利用者からは、施設の改修等の意見がある。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	14,580	7,495	0
	県支出金	千円	11,081	0	6,626	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	39,415	20,874	45,990	28,834	0
	事業費	千円	50,496	20,874	67,196	36,329	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 20,870千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕 7件 267万円 指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回 	<ul style="list-style-type: none"> 市としては、管理棟及び多目的広場トイレを増設し利用者の利便性の向上が図られた。

事務事業コード	0110070304030210	事務事業名	福山地区運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民がスポーツ活動を通して、健康及び競技力が向上することは、スポーツを行う環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民がスポーツを通して、ストレスを解消し健康を維持できることは、育み磨きあいまちづくりにつながることから、民間ではなく市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の早急な改修・修繕等を行うことにより利用者の増加、施設の総合的な印象を確保できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設はスポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・休止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 ※他地区の体育施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり、統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ活動の拠点として位置づけられており、廃止や譲渡は難しい。また、指定管理料については、これまで、管理基準の見直しや受益者負担を増やすことにより、市の負担を軽減してきており、一定の削減が図られていることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は、指定管理者を管理監督する役割が義務付けられており、施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っている。これらは、指定管理者の適正な運営を確保するために、必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民福祉の向上を目的とするものであるため妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	三期目3年目がスタートすることから、施設の管理運営についてこれまで以上に利用者サービスに努める。当施設は、3年後開催予定の鹿児島国体のサッカー女子の会場になっていることから、施設の改修を行っていく。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	当施設は、平成32年に鹿児島国体のサッカー女子が開催予定であることから、平成28年度より実施している多目的広場のオーバースードを実施し、安定的な芝の状態を確保する。また、老朽化した施設の改修を計画する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報													
事務事業コード	0110070304030211	事務事業名	体育施設維持管理事業(指定管理者以外)				担当部	市民環境部					
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課									
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	赤塚 孝平									
基本事業名	02	スポーツ環境の整備	グループ	スポーツ振興G									
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)							
	款	10 教育費				根拠法令・条例等	特に無し						
	項	07 保健体育費											
	目	03 社会体育施設費											
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特に無し							
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>													
(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)													
<p>保健体育課及び各地区教育出張所が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直営施設の管理運営と、市が行わなければならない10万円以上の修繕を行う事業。</p> <p>・修繕料について 4月中旬までに各地区担当課より修繕依頼を提出 ⇒ 5月上旬までに保健体育課長は各地区の修繕箇所を点検 ⇒ 中旬までに優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当 ⇒ 各地区において修繕の執行</p>													
① 活動指標 (事務事業の活動量)					単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)				
ア	修繕を実施した件数				件	27	50	45	50				
イ	購入した備品の件数				回	20	12	9	42				
ウ													
(2) 事務事業の目的													
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	30年度 (見込)				
ア	市民	人口			人	126,962	129,679	125,447	130,000				
イ													
ウ													
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)				
ア	施設を開館する	閉館した施設数			件	0	0	0	0				
イ	市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった」「どちらかといえば良かった」の割合			%	59	70	59	70				
ウ													
(3) 上位の基本事業													
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	30年度 (目標)				
ア	スポーツを行う環境が整う	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると認める人の割合			%	43.4	42.5	未把握	43.0				
イ													
ウ													
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)					4. 事業費の推移								
<p>合併後、保健体育課が所管するスポーツ施設は64施設に膨れ上がり、施設の維持管理が重要なウェイトを閉めている。トイレの改修や施設状態の改善を求める利用者ニーズが多く、経年劣化も重なり、安心安全や法律等の制約があるものから優先順位を付しながら、備品の改修や修繕を実施している状況である。</p>					単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)				
					事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
						県支出金	千円	0	0	0	0	0	
						地方債	千円	0	0	0	0	0	
						その他	千円	6,184	413	4,313	278	0	
						一般財源	千円	27,673	23,045	24,590	25,750	26,028	
					事業費	千円	33,857	23,458	28,903	26,028	26,028		
5. 平成28年度の実績及び成果													
(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>								
<p>【直営施設実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11施設 <p>【10万円以上の修繕実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40件、17,989,666円 ・指定管理者との打合せ、40回(修繕箇所の都度協議) ・競技団体との打合せ、15回(修繕箇所の都度協議) <p>【備品購入の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9件、1,289千円 ・指定管理者との打合せ、9回(備品購入の都度協議) 					<ul style="list-style-type: none"> ・40件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。 ・大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。 ・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。 								

事務事業コード	0110070304030211	事務事業名	体育施設維持管理事業(指定管理者以外)	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ施設への関心が高まり、安心して利用できることは、スポーツ環境が整うことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	施設の設置者(所有者)である市が、自ら維持管理する必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の経年に伴い改修箇所は増加する傾向である。予算の投入量によっては長寿命化が図られ、施設利用者の総合的な印象が向上する余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スポーツ施設は、市民がスポーツをする上で欠くことのできない場である。スポーツ活動の中核的機能を担い、活動の場の提供、スポーツ・健康に対する相談、指導、情報提供など多様なサービス機能を有する必要があることから、廃止・停止することは大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 各施設管理運営事業 合併後各地域にスポーツ施設は点在する形となったが、それぞれの地域で設置目的を持った施設であり統合又は連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ施設は、運動・スポーツ活動の拠点であり、利用回数と時間の経過とともに磨耗・劣化するものであることから、削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設に関する打合せ、モニタリング、工事、修繕などの業務を行っているが、本庁分に合わせて5総合支所分も担っており、これまでも合理化を図ってきていることから、現状の事務量は適正な運営を確保するために必要最低限の業務であり、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は市が設置する公の施設の管理運営事業に関わるものであり、市民の福祉を増進するものである。個人利用や団体利用に対して等しく活動スペースを提供しており、そのための公費の投入は妥当であり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各施設の経年劣化が目立ち、利用者も偏っている施設もあることから、継続すべき施設、そうでない施設の仕分けを進める。危険箇所、法令上必要な修繕等を順次行い、安心・安全に利用し、施設設備、環境、衛生面ともに工夫して充実を図りたい。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	施設の不備等においては、即事故につながることから、修繕等においては速やかに対応し、利用者の安全を確保するとともに、平成31年度開催の南部九州高校総体、平成32年度開催の国民体育大会鹿児島大会の練習・合宿会場となることを想定し、来場者等が快適に利用できる環境を整備する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0110070204030301	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興グループ		
基本事業名	03	スポーツ団体の育成		内線番号	3962		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	07 保健体育費					
	目	02 社会体育振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・目的・・・スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。
 ・内容・・・団、団員、指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施
 ・各単位スポーツ少年団登録事務・・・登録料は団員1人700円(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団1団(市スポ少1,000円)であり、28年度の団登録受付期間は4月25日～5月31日まで、追加登録受付期間は6月1日～7月10日までである。
 ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員1人300円、1団12,000円の積算で支給
 ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等
 ・スポーツ少年団活動領域にかかわる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	11	10	11	11	11
イ 競技種目数	種目	14	14	12	12	12
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	1,207	1,500	1,169	1,150	1,150
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	75	80	71	71	71
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト参加者)	%	7	15	9	15	15
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	210	345	228	345	345
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 活動が活性化する	体育協会及びスポーツ少年団の会員数	人	10,810	15,000	12,179	15,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。一方、少年団の活動分野に囚われずに活動したい指導者や子どもたちが、少年団ではなく、任意のスポーツクラブに加入する傾向がある。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,500	1,500	1,500	1,500
事業費		千円	1,500	1,500	1,500	1,500	

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

スポーツ少年団は、スポーツを通じた青少年の健全育成を目的に、指導者・育成母集団の役割と活動に関する事業を実施した。例えば、総会、競技別交歓大会、指導者研修会、フェスティバルである。平成28年度実績で、登録団数が71団、団員数1,169(男子803名、女子366名)指導者311名。また、その中には、中学男子47名、女子20名、高校男子4名、女子2名が含まれている。また、団員が揃わずに登録できない団や登録をせずに独自で活動している団体もある。特に総合型クラブや、体育協会との連携も含めて子どもの健全育成という観点からのスポーツ少年団の果たす役割を積極的に啓発した。

スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、スポーツ少年団を育成する役割は重要であることを、指導者や育成会に指導・通知してきたが、まだまだスポーツ少年団本来のあるべき姿からかい離している団も少なからず存在する。今後も、指導者や育成会に対し、少年団の本来の活動領域と指導のあり方を通知・指導し社会問題化している行き過ぎた勝利至上主義や、暴力行為、団員の燃え尽き症候群的な事例を抑制し、青少年育成の場であることを指導したい。

事務事業コード	0110070204030301	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ少年団の活動を通して、基礎体力が向上し体力テストの結果が向上することは、少年団の活動が活性化するものであり意図に結びつく。また、各団が奉仕活動等へ参加し、その団員数が増えることは、少年団の活動が活性化するものであり意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	毎年実施している小学校5年生と中学2年生の体力テスト結果を見ると、全国と比較した鹿児島県、鹿児島県と比較した霧島市の子どもたちの体力低下が指摘されている。スポーツ少年団の活動を通して子どもたちの健全な育成という観点から市が行わなければならない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	競技至上主義だけでなく、スポーツを通じた健やかな子どもの育成のため、団員の基礎体力向上を図ることや、社会活動や地域行事への参加により今後も成果の向上余地は十分にある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	子どもたちの体力・運動能力は全国平均から比べて低い状況である。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を狭めてしまうこととなり、目的である青少年の健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	少年団の指導・育成のための補助金であり、削減することで子どもたちの負担が増加することになる。健全育成に要する成果も下がることになり、現時点で削減は困難である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	少年団に関する事務や育成指導については、スポーツを通じた健やかな子どもの育成、推進を図るものであり、現在、必要最低限の職員で事務を行っており、また現在、業務を委託できる団体はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	年々児童数が減少していることから、スポーツ少年団に加入している児童数及び団数が減少している。団の存続ができずに市外の団と合併し活動場所を市外に移した団もある。今後もスポーツ少年団活動が青少年育成の場となるよう、勝利至上主義や行き過ぎた指導がないよう、指導者研修会の開催や県が行う講習会へ積極的に参加を促していく必要がある。また活動回数や1日の活動時間を守るよう指導する。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	平成29年度の取組みを継続するとともに、体育協会との調整を図り、事務事業の効率化を検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報	
事務事業コード	0110070204030302
事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業
担当部	市民環境部
担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04 育み磨きあうまちづくり
担当課長	赤塚 孝平
施策名	03 スポーツの振興
グループ	スポーツ振興G
基本事業名	03 スポーツ団体の育成
内線番号	5097
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 07 保健体育費 目 02 社会体育振興費
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 30 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
評価区分	標準評価 評価対象 1次評価 関連計画 霧島市スポーツ振興計画

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

各種体育大会の予選を勝ち抜き九州及び全国大会への出場が決定しているもの、各種体育大会の県選抜の一員として、又は、各種体育団体の代表者からの推薦を受け九州及び全国大会への出場が決定しているものに補助金を交付する。
 (補助金の交付対象)
 ①市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、財団法人日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)
 ②市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体(財団法人全国高等学校体育連盟加盟校の部活動、財団法人日本高等学校野球連盟加盟校の野球部を除く。)
 (補助金の額)
 ①九州大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体25,000円 個人5,000円、左記以外の場合 団体10,000円 個人3,000円
 ②全国大会:予選大会の結果が準優勝以上の場合 団体45,000円 個人10,000円、左記以外の場合 団体25,000円 個人6,000円
 *九州・全国大会が県内開催の場合は、予選大会の結果が準優勝以上の場合のみ交付し、補助金の額は、団体10,000円 個人3,000円

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 補助を行った件数	件	65	45	58	65	60
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	349	300	295	300	300
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 活動が活性化する	体育協会及びスポーツ少年団の会員数	人	10,810	15,000	12,179	15,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

各種団体が出場する経費として、その一部を補助している。毎年40～60件前後の申請実績があり、競技スポーツの振興が図られる一方で、申請件数が多くなり予算不足を生じる年もある。交付を受けた団体からは遠征費の一部になり経済的に助かったとする意見がある一方、補助額をもっと増額して欲しいとの意見もある。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	840	700	654	700	0
事業費		千円	840	700	654	700	0
投入量							

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
全国大会、九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付した。市として応援しているという意味合いを込めて激励的な補助金を交付することで、参加者の目標や励みになり、霧島市のスポーツ振興が図られた。本制度を知らない市民もいるとの指摘があったことから、広報活動に力を入れた。 平成28年度実績、九州大会32件、全国大会26件(団体:20団体、個人:38人)	各種大会に出場し優秀な成績を納めたことにより、各競技の底辺拡大が図られ、併せて一般市民のスポーツに対する関心が高まった。また、大会出場に関し、助成や側面的な支援等を行うことで、参加選手の励みになり、競技力の向上が図られた。また、個人の経費負担が軽減されるとともに、全国へ霧島市をPRすることができた。

事務事業コード	0110070204030302	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、予選を勝ち抜き大会出場補助金の支給を受け、出場経費の個人負担が軽減される全国、九州大会出場者が増えることは、スポーツ活動が活性化することで意図に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	九州大会や全国大会で市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	当該事業を継続していくことで市民の間に制度が定着し、競技スポーツ振興に対して気運が高まり、生涯スポーツから競技スポーツへ取り組みが顕著になり市民に活力が生まれる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担が増え優秀な選手、団体のモチベーションをそぐことになり、市の競技スポーツの振興が抑制される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金という性質上、民間参入や別な制度での対応は考えられない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	現在、霧島市体育協会が平成29年9月の法人化に向けて協議を進めており、これが実現すれば、体育協会が実施している事業との整理・統合を図ったうえで、事務委託も可能であるとする。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鹿児島県予選を勝ち抜き、県代表として参加する全国・九州大会への一律的な交付である。開催地の遠近についての考えはなく公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3) 平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0110070204030303	事務事業名	市体育協会運営支援事業		担当部	市民環境部
政策名	04	育み磨きあうまちづくり	担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	03	スポーツの振興	担当課長	赤塚 孝平		
基本事業名	03	スポーツ団体の育成	グループ	スポーツ振興G		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	07 保健体育費				
	目	02 社会体育振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市体育協会への補助事業であり、体育協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。
 ・霧島市体育協会加盟団体数・会員数 31団体約12,000人
 ・種目 陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・クレー射撃・空手連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道 全31種目
 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加。当協会の事務局員として関与している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 各競技団体による大会の開催	回	243	200	220	200	200
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市体育協会加盟団体	加盟団体数	団体	31	31	31	32	32
イ 各団体	加入者数(総数)	人	11,121	11,010	11,010	12,000	12,000
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 各競技団体の活性化を図る	新しく企画した大会の数	回	4	2	2	3	3
イ 各競技団体の活性化を図る	定期的に開催される大会の数	回	239	260	220	260	260
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 活動が活性化する	体育協会やスポーツ少年団に加入している人数	人	10,810	15,000	12,179	14,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 国の保健体育審議会答申「体育・スポーツの振興に関する基本方針について」を受け、市民一般の体育・スポーツの振興に力点を置くようになったのがきっかけ。平成18年6月23日に霧島市体育協会設立総会を開催し、旧1市6町の体育協会が一つに統合された。体育協会に加盟せず活動をする団体が増えてきている。県民体育大会への出場や競技団体の運営に当たり補助金の増を求められる。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	19,564	19,375	19,375	19,288
事業費		千円	19,564	19,375	19,375	19,288	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市体育協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、31の競技団体を傘下に置き、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を目的とした事業を展開し、大会、組織強化、育成大会等を開催し競技力向上を目指した。また、新たな取り組みとして、誰もが楽しくスポーツや運動に親しんでいただける体験型スポーツイベント「霧島スポーツまつり2016」を体育の日に開催した。さらに、前年に引き続き、先進地研修視察の実施及び講師を招いての研修会を実施した。なお、職員の事務の関与については、監査・総会・理事会・役員会時の出席、地区体育大会時の激励、県民体育大会時の激励等が主な内容。	市体育協会は市に代わって、スポーツの底辺拡大を担っている組織であり、市のスポーツ振興を図る上できわめて重要な役割を果たしている。体育の日にはスポーツ振興の一環として、「霧島スポーツまつり2016」を開催し、延べ約5,000名が来場し、各競技の魅力伝えるなど、スポーツ振興が図られた。また、昨年に引き続き、先進地研修視察、講師を招いての研修会等を実施することで、役員、理事、会員等の意識向上が図られた。

事務事業コード	0110070204030303	事務事業名	市体育協会運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市体育協会である各種競技団体の活性化を図るため大会等を開催し、数多くの大会が開催されることは、当協会の活動が活性化することから意図に結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の継続的な運動習慣の構築は大きな目標である。多くの市民が参加する各種スポーツ団体の振興を図ることは、市民のスポーツ活動を支える新しい公共の担い手として、当協会の安定的な運営は必要であり、市からの支援は継続していく必要があることから市が当協会の支援を行わなければならない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民が気軽にスポーツをすることができる地域スポーツ社会の形成は、体育協会の各種競技団体が中心となり、スポーツ指導から体力づくり、健康づくり、地域づくりといった視点で、連携していくことが大切であることから、地域へのさらなるアプローチが必要であることから向上の余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本事業を廃止することで各種競技団体の運営に支障をきたし、団体に所属する市民のスポーツ競技力・体力・健康増進の低下につながり、市に代って行われる「するスポーツ」「支えるスポーツ」の振興が図られなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	27年度に各種競技団体の補助金や育成費等の見直しを行っており、法人化の目処が立ち、自主財源の確保ができれば、削減の余地がある。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	31の競技団体が1年を通じて大会や組織強化、育成等のイベントを開催し、競技力向上と、底辺拡大を目指して活動している。それらの事務の取り扱いを同協会採用の事務局書記が取り扱っておりこれ以上の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市体育協会は、各種競技団体に加入する市民を対象とした組織であり、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	27年度から先進地視察や研修会等を実施し、法人化についての調査・研究、検討を行い、29年秋には一般社団法人として新たな運営を行うことで、行政と体育協会が連携し、より充実したスポーツ振興が図れるよう支援を行い、また、現在行政で行っている事務事業等について、委託等により、人員整理、経費削減等について協議・検討を行う。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	一般社団法人として、本格的な事業展開を行う年であり、自主事業の運営や自主財源の確保等が必要であることから、一社会体育団体として、支援・協力・相互連携を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報		事務事業コード	0110070204030304	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	スポーツ・文化振興課	担当課長	赤塚 孝平
施策名	03	スポーツの振興		グループ	スポーツ振興G	内線番号	3962
基本事業名	03	スポーツ団体の育成		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 36 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 36 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費		関係法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例		
	項	07 保健体育費		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価
	目	02 社会体育振興費		関連計画	霧島市スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内の各地区からの推薦を受けて教育委員会がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のため指導・助言を行う。

- ・各地区のスポーツ推進委員(国分27人、溝辺12人、横川7人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計91人
- ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等
- ・ミニバレーボール大会(国分)・ニュースポーツ指導(全地区)・MBC女子駅伝大会(国分隼人)・上野原縄文の森駅伝大会等

職員は各地区の担当者が事務局として関与、市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を下支えしている。スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行なう。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	スポーツ推進委員開催行事	回	9	10	9	9	9
イ	会議の回数	回	87	87	87	50	50
ウ	指導回数	回	29	50	35	35	35

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	スポーツ推進委員	人	91	91	91	91	91
イ	市民	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	スポーツ推進委員の指導力が向上する	回	29	50	35	35	35
イ	市民のスポーツへの関心が高まる	%	41	50	43	45	45
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	活動が活性化する	人	10,810	15,000	12,179	15,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

スポーツ振興法(現:スポーツ基本法)に基づき、スポーツの実技や指導を行える体育指導委員(現スポーツ推進委員)として位置付けられた。高齢化が進む中、若い指導委員の確保が困難である。活動中の身分は非常勤特別公務員。職員に代わって、地域のスポーツ指導をはじめ教育委員会と市民との連絡調整役が主な業務。地区・県・九州で定期的な資質向上のための研修会が開催され、予算の範囲内で受講し研修を深めている。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,430	8,697	8,499	8,199	0
	事業費	千円	8,430	8,697	8,499	8,199	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から組織改編を行い、総務部会(理事会)、研修部会、女性部会の3つの部会を設け、組織の活性化を図った。 ・研修部会により、2回の研修を実施した。 ・女性部会において、女性推進委員活動の実状等について、意見交換を行った。 ・県下一周駅伝、MBC女子駅伝、上野原縄文の森駅伝では、当日の運営・後片付けまで幅広く活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、旧行政区や地域単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画・運営・指導・連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進に貢献している。 ・部会制を設けたことで、スポーツ推進委員の意識を高めることができるとともに、活発な意見交換等が行われ、スポーツ推進委員活動の活性化につながった。前年度までは理事会にて、すべての項目を協議・検討していたため、理事への負担が大きかったが、各部会を設置し役割分担を行ったことで、より細かな協議をすることができ、事業の効率化が図れた。 ・研修部会を設置したことで、前年までの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、新たに市独自の研修会を実施し、より実状に近い内容で取り組むことができた。 ・各小学校の学級レクリエーション、家庭教育学級、地区子ども会、スポーツ少年団等へニュースポーツ体験活動を実施することにより、親子のふれあい、地域のコミュニケーションづくり、スポーツへの興味・関心の高揚等が図られ、高齢者については、健康づくり・生涯スポーツの普及振興が図られた。

事務事業コード	0110070204030304	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	スポーツ推進委員の指導力が向上し出前講座(ニュースポーツ講座)の派遣回数が増えることは、活動が活性化することに結びつく。また、市民が、スポーツへの関心が高くなり、スポーツを行なう環境が整備されることは、スポーツ活動が活性化することに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	スポーツ基本法により各自治体スポーツ推進委員を置くことになっており、また、スポーツ推進委員は市の非常勤特別公務員として位置づけられているため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域でスポーツに関する指導助言に対する報酬、及び資質向上のための研鑽に要する費用のため向上の余地はない。一方、市民からの要請である出前講座は年によって変動することから向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本市の市民スポーツの普及推進を担う責務を負っているため休止はできない。またスポーツ基本法に基づく委員であり廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	費用は主に報酬と費用弁償である。地域活動のなかではボランティアで行っている状態であり、成果を上げれば上げるほどボランティアの出会いが多くなるため、これ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	スポーツ推進委員は、職員に代わって地域のスポーツ活動を推進する業務を担っており、職員は事務的な業務を担っている程度であり、最低限度の関与であることからこれ以上の削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が委嘱しているスポーツ推進委員が指導を行うニュースポーツ等については、出前講座のメニューにもなっており誰でも受講できることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	昨年から専門部会を導入した総務部、研修部、女性部のそれぞれ部会にて充実した活動・実践を行うことで、霧島市スポーツ推進委員全体の意識、知識、技術の向上を図る。また、スポーツ推進委員の地区、県、九州、全国研修への積極的な参加を促すほか、市単独の研修会を年2回開催し、必要なスキルを身につける。市体育協会、各総合型地域スポーツクラブ等の社会体育団体のほか、運動普及推進員等の保健福祉部局との情報交換、行事参加等を行う。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	霧島市スポーツ推進委員協議会の専門部会を活性化し、市民からの幅広いニーズに対応するため、研修、実践を継続する。また、出前講座での積極的な派遣や、講座内容の充実等、市民が気軽にスポーツや運動に親しめる環境を整備するとともに、日頃から関心を持ち、継続を促進できるよう、委員のスキルアップを図る。さらに、「障がい者、高齢者ニュースポーツの普及」を目標に自治組織、市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、保健福祉部局等と連携を図り、体力づくり、健康づくり、地域づくりといった視点で、霧島市スポーツ推進委員の効果的な活用を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	011006004010102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費				特になし	
	目	06 文化振興費				特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

公募展として、霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境に関するもの、ジオパークなどを捉えた自由部門と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えるエアポート部門を加えた写真展を開催することで、写真に対する関心を深めてもらうと共に、合わせて霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めていただくきっかけ作りにつなげて貰うことを目的とする。(応募作品撮影期間 1月～12月)

手順 ①開催要項の決定
 ②募集チラシの作成・広報
 ③応募作品の審査
 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	出品点数	点	446	500	415	500	500
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	写真展鑑賞者数	人	5,410	5,500	5,550	6,000	6,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 写真に対する関心を高めてもらう	写真展出品者数	人	153	250	130	200	200
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	104,524	92,500	96,574	93,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

旧国分市の市制50周年を記念し創設された写真展であったが、合併後、霧島市全域を対象とした写真展として継承した。近年デジタルカメラや携帯電話の普及により、気軽に撮影できる環境が整ったことにより、今後も多くの愛好家の皆さんの参加が見込める。

4. 事業費の推移

単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 234	440	440	340
	一般財源	千円 293	95	83	334
	事業費	千円 527	535	523	674

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
展示期間 平成29年3月1日～3月15日(シビックセンター市民ギャラリー) 巡回展 平成29年3月16日～7月28日(9会場) 応募総数 415 点 応募者数 130 名	毎年、県内外から、また、広い年齢層から応募をいただいている事からもきりしまフォトコンテストに対する認知度は高まっているものと考えます。なお、上位入賞作品を市内各地で巡回展示することで、文化に親しむためのきっかけになっていると思われます。

事務事業コード	0110060604040102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	例年開催とすることで、フォト展を身近なものとして認識いただき、より多くの市民が写真に対する関心を高めていただく逸機にできていると考えられることから、基本事業の意図に結びついているものと思われまます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	テーマを霧島に特化し、また、入賞した作品の著作権を霧島市に帰属させることで、市のパンフレットなどのPR用としての利活用も可能となっている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	毎年毎年、対象となる人・場所・ものは変化を続けていることから、シャッターチャンスは無限にあり、「奇跡の一枚」は自分の足元にあるかもしれません。より多くの「霧島の魅力」を引き出していただけるよう、広報に努めてまいります。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	先述したとおり、毎年、公募いただき入賞された作品は、霧島市をPRするノベルティとして活用していることから、廃止・休止による影響はあるものと思われまます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 きりしま美術展 きりしまフォトコンテスト同様、公募展としてきりしま美術展(絵画展)がありますが、統合連携をするためには、主催者の統一など検討を要する問題が生じております。しかしながらその統合連携に向け、検討すべき時期に来ているものと考えます。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現時点で事業費を削減する方法は、事業縮小しか方法がないと考えられるが、年々、応募者と応募作品が増加傾向にある段階での事業縮小は応募者たる愛好家の皆さんの創作意欲を割くことに繋がりがかねないことから削減はできないものと考えます。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	実行委員会方式への変更も検討の余地はあるものの、新たな事務量が増加する可能性が高いことから現事務事業方式を継続することが人件費を含め経費を削減している状態であると言えます。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公募展として、広く門戸を広げていることから一部の愛好者に偏っている状況にはない。また、応募いただく方からは出品料を徴収するなど受益に対する負担を強いことから公平性は保たれているものと考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	自由部門は、対象となるべきものが時期・もの・場所など広範囲に及ぶことからさまざまなアングル構成が可能と考えるが、エアポート部門は対象となるべきもの・場所等が限定されることもあり、新しいアングル構成の構築が難しくなっているように思えます。空港・飛行機といった固定概念から脱却した構図による写真の発掘も必要であると考えます。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	平成29年度中において、新しい「ポストカード」の作成を予定しており、平成30年度から販売を開始します。ポストカード利用者のニーズを的確にリサーチして、その販売方法についても工夫を加える予定です。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060604040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

第13回を迎える今年も美術作品(絵画)を公募したところ、幼児から高齢の方々まで総数2,654点に及ぶ力作の応募がありました。なお、今年には展示会場の改修工事により、一般部門とジュニア部門を期間を分けて展示をさせていただきました。美術展の運営につきましては、実行委員会を組織して次のとおりその任にあたっております。

①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) (9月上旬)→出品料 1点につき 2,000円
 ③審査(9月中旬) ④表彰式及び一般部門展示(10月上旬)→ジュニア部門展示(11月中旬)
 ⑤搬出(10月下旬) ⑥巡回展(松下美術館、その後ジュニア部門は市内施設で実施)(11月～2月)
 ⑦実行委員会(精算事務)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	出品点数	点	2,457	2,600	2,654	2,700	2,800
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	美術展鑑賞者数	人	4,015	4,100	4,215	4,200	4,300
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 美術展に出展する	美術展出品者数	人	2,369	2,400	2,575	2,500	2,600
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけ作りの活動に参加した延べ人数	人	104,524	92,500	96,574	93,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

過去には、議会から「絵画、写真、彫刻、書等の常設展示館的なのもの考えはないか。」「霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか」などのご意見をいただいているようです。

また、合わせてきりしま美術展も回数を増すごとにそのクオリティが上がっているのご意見もいただいていることから、合同芸術展への検討や常設展示会場の確保について協議を行ってまいりたいと考えます。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,570	1,270	1,270	1,270	0
	事業費	千円	1,570	1,270	1,270	1,270	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>今年は庁舎改修工事が行われた事もあり、開催以来初めて、一般部門とジュニア部門の展示期間を分けて開催させていただきましたが多くの皆様にご来場いただきました。また、表彰式では実行委員にプレゼンターをお願いするなど新しい試みにもチャレンジさせていただきました。広報がなかなか全国レベルにまで達することが出来ない中、今年は昨年以上の出品をいただき、感謝に耐えないところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示期間 平成28年10月8日～10月21日 11月15日～27日 ・応募総数 2,654点 ・応募人数 2,575人 	<p>展示期間を2部制に変更したことにより、それぞれ会場を広く利用することができ、見やすいレイアウトになっていた。プレゼンターをボランティアの学生から実行委員にお願いすることで個々の受賞者へ声掛けができ、受賞者から喜ばれた。</p>

事務事業コード	0110060604040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	きりしま美術展をはじめ、市内で開催される他の絵画展の鑑賞を通じて、市民の多くが芸術に対する関心を持つ機会を得ることは芸術活動に取り組むきっかけづくりに繋がっていると考えます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	昨年の当該項目にも「当分の間」という記載があったように、市がいつまでどこまで関与するかが重要であると考えます。市内でも市民による絵画展が確立されており、市の「エアープンプ」としての役割は終えつつあると思慮します。また、新たな企画へのステップアップも視野に検討に入っている時期に来ていると考えます。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	向上させる余地はあるものの、向上させる過程には、必ず人と予算が伴うことから可能な向上に限りががあります。また、可能な向上を行うほどに事務局の負担が増大していることも懸念されます。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	今年の美術展への一般応募者中72人が市民の方でした。県内には始良市の10号展や曾於市の吉井展など他に10程の公募展もありますが、この72人の市民の方々の中には「居住地の絵画展だから出品する」或いは「きりしま展だから出品する」とお考えの方もおられるものと思われることから影響はあるものと考えます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 きりしまフォトコンテスト きりしま美術展同様、公募展としてきりしまフォトコンテスト(写真展)がありますが、統合連携するためには、主催者の統一など検討を要する問題が生じております。しかしながら「霧島市美術展」+「こども絵画展」=「きりしま美術展」としたようにその統合連携に向け、検討すべき時期に来ているものと考えます。
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業量を変えないと仮定すると、出品料の増額や協賛社を増やすことで市の委託料を削減することは可能です。しかしながら、市の予算削減のための安易な増額は、出品者や協賛各社への不信感を募らせることになりかねません。再度、必要経費の精査を行うとともに、仮に出品料等の改訂をお願いする場合には、その理由を明確にしなければならぬと考えています。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	相応の委託料を以って、外部団体へ一括委託することは可能であると考えますが、公平性や公益性の確保など担保しなければならぬ問題も存在することから現時点では削減は難しいと考えます。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	芸術文化に係る同種の事業は、より多くの市民が芸術文化に触れることで活動の幅を広げていただくことが趣旨であります。確かに、一部受益者に偏っているように受け取られかねないところもありますが、将来的には底辺が広がる活動に繋がっているものと考えています。また、受益者負担については、機会を捉え常に全体経費に占める割合を検証してまいります。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	011006004010106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業			担当部	市民環境部
						担当課	スポーツ・文化振興課
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				担当課長	赤塚 孝平
施策名	04	文化の振興				グループ	芸術文化グループ
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり				内線番号	3981
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)			
	款	10 教育費		特になし <small>根拠法令・条例等</small>			
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民会館及び学校で、児童・生徒に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を醸成することを目的としており、市町村による青少年劇場(小学校)と児童生徒芸術鑑賞会(中学校)については、3年に1回、全小中学校の児童生徒が鑑賞できる機会を作っている。

また、劇団四季の事業「こころの劇場」により、小学校6年生全員が劇団四季公演を観劇できる機会を得ている。

上記以外に、鹿児島県と文化庁への申請により、能楽、バレエ、オペラ、邦楽等の鑑賞を出来る機会がある。

事務手続き
 県への開催希望申請 → 内定 → 学校との調整(日程調整・送迎バスの調整等) → 実施

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	13	13	13	13	13
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,717	3,628	3,628	3,600	3,600
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小学生の数	人	7,414	7,437	7,437	7,500	7,500
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	5,727	5,400	6,431	5,500	5,600
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	104,524	92,500	96,574	93,000	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成8年度に、溝辺地区内の中学生の芸術鑑賞事業として開始された事業を、合併後は市内全小中学生を対象を広げ実施している。学習指導要領の改正により、芸術鑑賞等に使える「総合的な学習の時間」数が減少している。未来を担う青少年の選択肢の一つとしても、優れた舞台芸術の鑑賞機会を与えることは有意義なことであると考えている。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,080	4,508	4,026	4,252	0
	事業費	千円	4,080	4,508	4,026	4,252	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「しやみせんいろいスーパーセッション」6公演(小学校12校) 上小川小、青葉小、横川小(佐々木小、安良小)、富隈小、大田小(霧島小、永水小)、国分南小(平山小、塚脇小) 2,208人 2 生徒芸術鑑賞会「おとどけコンサート」5公演(中学校5校) 舞鶴中、溝辺中、横川中、牧園中、福山中 1,105人 3 劇団「四季」こころの劇場「エルゴスの祈り」 小学6年生全員 市民会館 2回公演 1,232人 4 文化芸術による子供の育成事業(文化庁) 日当山中・霧島中・牧園中(パントマイム) 牧園小(バレエ)、国分北小・天降川小(邦楽)、1,886人	小学校6年生で重複する子供たちがいるものの、延べ鑑賞児童生徒数は11,000人中6,400人を超えることとなり、今年も、全小中学生の3人中2人は、優れた文化芸術に触れる機会があったものと考えている。

事務事業コード	0110060604040106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	この事業を通じて、優れた芸術文化に触れることは、興味や関心を持つきっかけとなり、将来的には、芸術文化活動に取り組むことに結びついていると考えます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	一流のものに触れた感動は、子供たちの心に残るものであろうと考えます。今後は、日本の伝統である「和」の文化の鑑賞にも取り組みたいと思います。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	青少年の健全育成の基本は、「心と体」の教育です。本事業は、その「心」の教育の一端を担う重要な位置を占めていると考えられることから、廃止・休止による影響は大きいものと考えます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	先述したとおり、全児童生徒に3年に1度、必ず鑑賞機会を提供することを考慮すると、これ以上の経費削減は困難であろうと考えます。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	鑑賞会の実施に向けて、学校・実施団体・関係機関との連絡調整が主な業務であることから、職員以外の対応はこんなんであると考えます。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年育成の一環として行っていることから、公平性は保たれていると考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2) 平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事業が青少年の健全育成を主目的としていることは言うまでもありません。今後も、その事業実施について研究を重ね、霧島市・霧島市教育委員会・小中学校が一体となり実施してまいります。							
(3) 平成30年度の方向性(具体的な取組)	市町村による青少年劇場と児童生徒芸術鑑賞会の2つの市の事業を中心に、青少年のための芸術鑑賞(県)と文化芸術による子供の育成事業(文化庁)を活用しながら、より多くの児童生徒の皆さんに、一流の芸術に触れる機会を与えられるよう取り組みます。また、劇団四季主催による「こころの劇場」も可能な限り、継続をお願いしてまいります。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060604010201	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 55 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	10 教育費		根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島国際音楽祭を主催する財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。
【活動内容】
 みやまコンセールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。
 期間 7月16日から8月7日 (23日間)
 主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・公益財団法人鹿児島県文化振興財団
 共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会
【事務事業】
 補助金交付に係る諸手続き、文化振興会活動に対する指導・助言

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 霧島国際音楽祭期間中に演奏会等を鑑賞した人数	人	16,186	18,500	17,456	18,500	18,500
イ 霧島国際音楽祭で講習会を受講した生徒の教	人	156	170	158	170	170
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア サポーターやアーティストを増やす	きりしま国際音楽祭きりしま友の会会員数	人	70	60	63	100	120
イ サポーターやアーティストを増やす	鹿児島県出身の受講生数	人	17	20	13	25	25
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化	芸術文化団体の団体数	団体	185	224	175	224	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 平成26年度まで、市民サポーターとして活発な活動を行っていた「牧園友の会」が解散したことから、平成27年度は牧園教育振興課長を中心にサポートにあたっていた。平成28年度に新たに「きりしま友の会」を設立し、鹿児島県友の会とともに、一人でも多くの方々に霧島国際音楽祭を楽しんでいただけるよう、そのサポートにあたっているところです。

4. 事業費の推移

事業費	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,060	7,060	7,060	0
事業費	千円	7,060	7,060	7,060	0	0
投入量						

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
期間 平成28年7月15日～8月7日 コンサート 58公演 マスタークラス(講習会) 178回 受講生 158人	平成28年度も県庁ロビーコンサートを皮切りに県内各地で国内外のアーティストによる公演と国内外から集結した受講生の講習会が約3週間にわたって繰り広げられました。アーティストによる公演では、多くの県民が一流の音楽に触れる機会となり、特に市内にある霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)では、オープニングコンサート、ファイナルコンサートが行われ、音楽愛好家だけではなく、県内外からおいになった多くの方々に感動を与えていただきました。また、期間中、市内における経済効果は大きかったものと考えます。

事務事業コード	0110060604040201	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	創設者ゲルハルト・ボッセ氏が霧島国際音楽祭を始められてから37年。霧島市民の中には、クラシック音楽には興味がないが、霧島国際音楽祭が毎年開催されていることは知っているという方も多いと思いますので、ここを出発点として、サポーターへ、プレーヤーへと繋げていくことで、市内の文化団体の活性化が図られるものと考えます。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生が著名な講師陣から指導を受けたり、世界的なアーティストの公演を鑑賞するだけなら、他の音楽祭でも可能です。しかし、霧島でしか生まれないものがあるからこそ、世界各地から講師や受講生が霧島に集うのだと考えます。また、文化の香り高いまちづくりに今や霧島国際音楽祭は欠かせないものです。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島国際音楽祭を巣立った若い音楽家の中には、後年度、世界のコンクールで認められ、講師として霧島国際音楽祭に戻ってこられる方や、大学等で室内楽を専攻している学生の父母が霧島国際音楽祭の受講生だったなど、その広がりや影響は計り知れないものがあります。今後も継続することでより以上、成果が向上することが期待されます。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島国際音楽祭は既に国内外で多くの音楽関係者に開催時期を含めて深く浸透していること、また、期間中、市内に及ぼす経済効果等を考慮した場合、廃止・休止による影響は計り知れないものがあると思います。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	霧島国際音楽祭は、年々、その質と共に量も増加傾向にあり、県と市からの補助金額を運営の基礎とした上で、期間中に開催予定の有料公演の財源を見込んで、その活動の幅を広げている状況であることから、現時点での補助金額の削減は難しいと考えます。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	既に毎年、必要最低限の人員・時間で対応していることから人件費の削減は見込めません。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	演奏会や講習会は霧島市民をはじめ、県内外の多くの皆さんに広く広報・周知されており、その鑑賞機会や受講機会は平等であると考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島国際音楽祭の根幹であるクラシック音楽に対する霧島市内の反応を鹿児島市内のそれと比較した時、まだまだ薄いような感じがいたします。その理由の一つとして、絶対的なクラシック愛好者の数の違いが考えられます。今後も、少しずつではありますが、霧島国際音楽祭をもっと身近なものとして感じていただけるよう、より多くの市民に知っていただき、興味を持っていただき、鑑賞していただけるように、ありとあらゆる手段を講じて「夏も霧島：霧島国際音楽祭」をPRしてまいります。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	運営自体は、鹿児島県及びジェスク音楽文化振興会が担っており、霧島市は共催という立場にあります。しかしながら、実質は助成をしている自治体の一つであり、その企画・立案・運営に関与するまでには至っておりません。今後は、新たに設立した霧島国際音楽祭さきりま友の会と霧島市で協働し、創設者であるゲルハルト・ボッセ氏と野村三郎氏の崇高な意思を継承しつつ、「霧島でしか創れない霧島国際音楽祭」を目指し、積極的に関与してまいりたいと考えます。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060604010202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化G		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費				特になし	
	目	06 文化振興費				特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島音楽振興会は、文化振興課芸術文化グループが所管する文化団体であり、それぞれが行っている自主活動は本市の芸術文化振興に大きな影響を与えていることから、補助金を交付してその運営及び継承の安定化を図っています。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 文化協会による文化事業へ活動延人数	人	2,932	3,000	2,686	2,900
イ 演奏会等の活動延人数	人	1,320	1,400	1,485	1,450
ウ 神楽公演等への活動延人数	人	620	650	680	700

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民(成人男女)	人口	人	101,151	104,199	99,248	104,711
イ 市民(小中学生)	小中学生数	人	11,131	11,000	11,065	11,000
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 加入を促進し心豊かな文化活動を行う	対象人口に対する活動指標の割合	%	3	4	3	4
イ 加入を促進し、音楽を通して青少年の健全育成を図る	対象人口に対する活動指標の割合	%	12	15	13	14
ウ 加入を促進し、伝統芸能の継承を図る	対象人口に対する活動指標の割合	%	1	2	1	2

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化する	芸術文化団体に所属している人の数	人	2,932	3,600	2,763	3,600
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市文化協会は合併を機に設立し、旧市町単位で支部として活動しているが、旧町の支部では会員の減少及び高齢化に伴い活動がむずかしい支部も出ている。少年少女合唱団は、学校週5日制(隔週)の導入に伴い、平成8年度に旧国分市で結成されたが、今年は、霧島国際音楽祭にも出演した。また、市内の小中学生には毎年チラシを配布し募集している。霧島音楽は、旧霧島町で270年前の古文書が見つかり、記述をもとに復活させ来年で創立20周年を迎える。今年の青少年議会でも霧島音楽PRをとのこと意見をいただいた。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	2,500	0
	一般財源	千円	2,124	2,124	2,124	9,184
	事業費	千円	2,124	2,124	4,624	9,184

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
全ての団体において、自主運営の確立により活発な活動が行われた。文化協会は、各支部ごとに文化祭を中心とした活動と国分支部・単人支部が毎年行っているチャリティーショーなど地域の特性を生かした活動を行っている。また、西郷公園において年間を通じてギャラリー展を行った。 少年少女合唱団は、県の合唱祭や白い歌青い歌フェスティバルへ参加したほか、霧島国際音楽祭「うたの祭典」にも特別出演を果たした。霧島音楽振興会は、前年に引き続き、南九州音楽まつりや郷土芸能の夕べに出演した。	文化協会は、他市町や他支部との交流等を通じた会員の相互研鑽による文化振興が図られた。少年少女合唱団は、活動を通じて青少年の豊かな心の醸成を行うことができた。霧島音楽振興会は、その活動が市内外へ向けて霧島市のPRになると共に伝統芸能の継承が行われた。

事務事業コード	0110060604040202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が文化芸術活動を行う上で、その受け皿づくりは重要であり、より多くの受け皿の構築が文化活動、芸術活動の活性化に繋がると考えます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受け皿としての文化芸術団体の安定化を目的として市費を投入することは、多くの市民にその機会を与え門戸を開いておくためにも必要なことと考えます。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	3団体共に活動指標から言えばまだまだ活動の幅が広がる可能性を秘めています。今後、如何に市民の皆さんに対してその魅力を伝えられるかがカギになると思われれます。また、文化協会においては、新たな文化サークルや文化団体の発掘も必要であると考えます。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	各団体ともに運営は安定しているとは言ものの、補助団体であることから、本事業の廃止・休止はその存続に影響があるものと考えます。また、今後、文化活動を望む市民の皆さんにその受け皿としての選択肢を確保することも重要であると考えます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	当該団体のいずれも、自主財源のみでの運営は行っており、不足する財源を補助金で賄っております。今後、自主財源の増額を要請した場合、会の存続など基幹的な問題に発展する可能性を含んでいることから、自主財源のあり方を含め慎重に検討する必要があるかと考えます。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	既に最小限の事務量で対応していることから削減はできません。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	いずれの団体も、広く市民に門戸を開いており、かつ、会員からは会費や実費を徴収するなど受益者負担の公平性は保たれていると考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現時点では、課題のある団体は見受けられないことから、喫緊な改革改善の必要な団体は無いものと考えますが、文化協会においては、高齢化の進行により団体の存続が困難になりつつあるところもあることから、支部の合同による対策も必要な時期に来ていると考えます。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	各団体共、加入促進や新たな事業参入による活性化を見出さなければなりません。加入促進に特化して言えば、「見に来てください。」から「行かせてください。」ぐらいの大胆な意識の変革も必要と思われれます。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	011006004019903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部	担当課	スポーツ・文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平			
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ			
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	3981			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 42 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市民会館の設置及び管理に関する条例		
	項	06 社会教育費			関連計画	特になし		
	目	06 文化振興費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託している。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項) [施設の概要] 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル) 延べ床面積 4,472㎡ 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12 休館日 毎月第1日曜日、年末年始 開館時間 午前9時～午後10時						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	利用者数	人	72,436	68,000	63,924	66,120	69,600
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	文化的催し物に参加する	自主文化事業の総入場者数	人	4,401	4,000	4,232	4,100	4,200
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	104,524	92,500	95,002	93,000	
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	
平成25年4月から公募による指定管理者制度を導入した。リニューアルから17年が経過したことから、施設・設備に軽微な不具合が発生してきている箇所もあることから、市民が安全に利用できるよう、その修繕・改善を施す必要があります。	

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	5,591	6,000	6,000	6,000
		一般財源	千円	51,824	48,007	101,180	50,289
事業費		千円	57,415	54,007	107,180	56,289	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
年間を通じて、文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼保育園の発表会、小中高校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会と利用され、また、霧島市事業として市民表彰や成人式並びに舞鶴大学の開催、劇団及び楽団による練習や公演、劇団四季の「こころの劇場」に活用いただいたほか、今年には県民文化フェスタ「和太鼓の祭典」と名誉市民小里貞利氏の市葬も行われました。	今年は特に県民文化フェスタの地域開催が始良伊佐地区に決定していたことから霧島市民会館で「和太鼓の祭典」を鹿児島県太鼓連合との協力で開催したところ、県内外から1,000名を超える方々にご来場いただきました。また、1月にはホールにて昨年12月に逝去されました名誉市民小里貞利氏の市葬がしめやかにこころで行われました。なお、自主文化事業は合わせて9つのプログラムを実施し、合計で4,631人の方々に鑑賞していただきました。

事務事業コード	0110060604049903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民会館で催される様々なプログラムに参画いただくことで文化芸術活動を行うきっかけに繋がっていると考えます。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の公共施設であることから、市費を投入して管理を行うことは妥当であると考えます。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	文化芸術活動に関する12万市民のニーズはまだまだ広く深いものと考えます。今後も市民の皆様に多彩なプログラムを提供できるよう研究を重ねてまいります。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市内に存在する唯一の文化施設であることから、廃止・休止による影響は計り知れないものがあると考えます。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	平成25年度～29年度までの5年間で指定管理者制度を導入して運営を行っており、今後も当該制度を継続して導入していく予定であることから、民間ノウハウを生かした経営の活性化と経費の節約を行ってまいります。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度導入により、当該事業に係る人件費は最小のものになっていると考えます。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民会館の利用については、条例により規定されていることから公平性は担保されているものと考えます。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成28年度に管理運営の方法等について、ご指摘をいただいたことから、現在、その改善に取り組んでいるところです。平成29年度は第1期指定管理者制度の最終年度であり、かつ、第2期指定管理者制度の公募年度でもあることから第1期の改革改善点と反省点を総括した上で、新たな指定管理者の指定に当たりたいと思います。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	第2期指定管理者制度の初年度に当たることから、指定された業者と「報告・連絡・相談」を常に綿密に行い、市民に方々にさらに安心して利用しやすい市民会館となるよう協働してまいります。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	011006099999901	事務事業名	文化振興関係各種協議会等参画事業	担当部	市民環境部		
				担当課	スポーツ・文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	赤塚 孝平		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	3981		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	簡易評価	評価対象	2次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市市民会館が、各市町村の文化施設を活性化するために設立された、全国公立文化施設協会及び鹿児島県公立文化施設連絡協議会へ加入していることによる負担金支出の事業

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 鹿児島県公立文化施設連絡協議会主催の会議への参加回数	回	2	2	2	2
イ 全国公立文化施設協会からの情報提供回数	回	12	12	12	12
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

文化関係団体から主催事業に対する財団等からの助成を希望する声がある。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	33	33	66
	事業費	千円	33	33	66	0

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
全国公立文化施設協会=年:28,000円 ・情報誌の提供 12回 鹿児島県公立文化施設連絡協議会=年:5,000円 ・連絡協議会の開催 年2回	情報誌や会議により、全国及び県内の公共文化施設の動向がわかり、市民会館の運営に役立った。

事務事業コード	0110060699999901	事務事業名	文化振興関係各種協議会等参画事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	必要最小限の経費による対応のため削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最小限の人員での対応のため削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成29年度から文化振興総務事務事業へ統合して対応することとした。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	今後も、関係団体等の連携を強化するため継続して加入する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	市民環境部	久保 隆義		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○				○		
(2)総評	この事務事業は、全国公立文化施設協会と鹿児島県公立文化施設連絡協議会へ参画するための事業であり、文化振興の総括的な事務事業である文化振興総務管理事務事業と統合することにより、包括的な事業管理を行うことができる。						

